

デジタルレコーダ ZR-DA500 シリーズ ユーザー・マニュアル



ZR-DA504J

ZR-DA509J

ZR-DA516J

Ver. 1.005P5



ご挨拶

この度は、本製品をお買上げいただき、ありがとうございました。

本機の機能を十分に活用していただくために、当マニュアルをご用意致しました。
目的に合わせて本書をお使ください。

ご使用になる前に正しく安全にお使いいただくため、本書を必ずお読みください。
お読みになったあとは、保証書と共に大切に保存し、必要なときに活用してください。

- * 本機をお使いになる前に本書をよくお読みになり、正しく設置や設定を行ってください。
本書中の警告や注意を必ず守り、正しく安全にお使ください。**

はじめに

本書は、ZR-DA500J シリーズのユーザー・マニュアルです。

本書では製品外観、各部名称、PTZカメラ制御、アラーム機器を含めた周辺器機の接続方法、システムの設定方法などに関する詳細な説明を行っています。

- ・ 本製品を使用した結果、発生する情報消失等の損失については、弊社では責任を負いかねます。保証は本製品の物損の範囲に限ります。予めご了承ください。
- ・ 内部には電圧の高い部分があり、触ると感電の原因となります。また、改造するとショートや発熱により、火災や感電の原因になります。内部の点検・調整・修理は、販売店にご依頼ください。

ハードディスク(HDD)について

◆本機は、精密機器であるハードディスクを使用しています。衝撃や振動は、故障の原因となりますので、取扱いは充分にご注意ください。

◆記録・再生の動作中または通電中に、電源プラグを抜かないでください。

◆ハードディスクへ記録中、電源供給が停止(停電)すると、ハードディスク内のファイルが破損する恐れがあります。これを回避するため、無停電電源装置(UPS)の使用をお薦めいたします。UPSではバッテリーを使用しています。このバッテリーには寿命があり、バッテリーの寿命を越えた状態で使用された場合、思わぬ障害を発生させる原因となります。予防保全のためにも、バッテリーは必ず定期的に交換(約2年半/使用温度:5°C~25°C時)してください。

◆本機を使用中に機器の故障などにより、正常に記録または再生されなかった場合、そのデータについては保証いたしかねます。また万一、ハードディスクが故障した場合のデータ修復はいたしかねますので、大切なデータは予め別メディアにバックアップされることをお薦めいたします。

◆ハードディスクまたはそれに関連する部品は消耗品です。交換する際は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。(交換費用は補償期間内でも有償となります。)

◆ハードディスクは、**約20,000時間(約2年)を目安として交換**してください。

※この時間はあくまでも交換目安であり、部品の性能を保証するものではありません。

注意事項

設置する前の注意事項です。

ご使用前に、必ず下記の事項をご確認ください。

- ・ 湿気、埃、煤が多い場所での設置は避けてください。
- ・ 直射日光や、暖房器具などの熱が多い場所での設置は避けてください。
- ・ 揺れが激しい場所や磁気がある所からは、遠ざけてください。
- ・ 高温、または低温の場所での設置は避けてください。(適正温度0℃~40℃)
- ・ 通風のための通気孔に、伝導性物体が通りぬけないよう注意してください。
- ・ 設置前に必ずシステム電源を“OFF”にしてください。
- ・ システムの配線を接続するための空間を確保してください。
- ・ 動きのない場所と通風の良い所で作業してください。
- ・ ラジオ、TV等の無線機器に隣接して設置させた場合、障害の原因となる恐れがありますので、注意してください。
- ・ 本機を故意に分解しないでください。
- ・ 本体の上に重たいものを載せないでください。

安全上の警告および注意

ユーザーの安全を確保し、財産上の損害などを防ぐための内容です。
必ずよくお読みの上、製品を正しくお使いください。

警告・注意の内容



警告

人が死亡または重傷を負う可能性のある内容を示しています。



注意

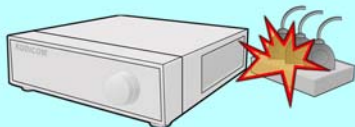
人がけがをしたり、物的な損害をうけたりする可能性のある内容を示しています。



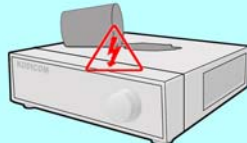
警告

設置の前に必ず本機の電源をオフにしてください。1つのコンセントから複数の機器の電源は取らないでください。

•異常発熱、火災、または感電の恐れがあります。

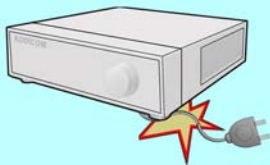


本機の上に、水、コーヒー、飲料水など、液体の入った容器を置かないでください。液体がこぼれて製品の中に入ってしまうと、故障および火災の原因となります。



電源コードやプラグを無理に曲げたり、重い物を載せないでください。

破損して、火災の原因となります。



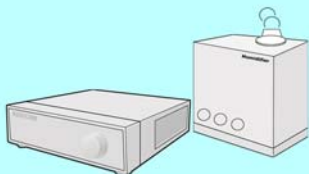
本機を設置する途中または設置してからは、本機の周りを常に清潔にし、ほこりや汚れのないようにしてください。また、掃除をするときには、必ず乾いた布をご利用になり、水、シンナー、有機溶剤などはお使いにならないでください。

機器の表面が破損して、故障や感電となる危険性があります。



湿気やほこりなどの多い場所には置かないでください。

感電、火災の原因となります。



電源ケーブルをもって、無理に引っばったり、濡れた手で電源プラグを差し込んだり、抜いたりしないでください。電源プラグの穴の部分がゆるい場合には、プラグを差し込まないでください。

火災および感電の危険性があります。

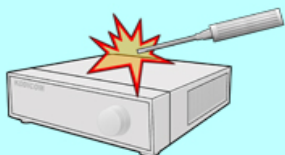




警告

本機の内部には、高電圧が流れている部分がありますので、開けたり、分解・修理・改造は絶対しないでください。

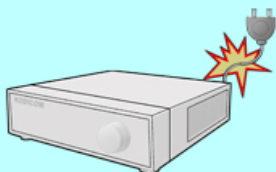
異常作動により、火災・感電・障害の危険性があります。



底が湿気のある場所、アースのない電源の延長ケーブル、古い電源コード、アースが安全でない場所に設置しないでください。

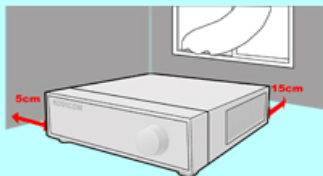
問題が発生したら、お買い上げ店または専門家にお問い合わせください。

火災および感電の危険性があります。



電源ケーブルの接続端子、映像信号の入力・出力端子、シリアルポート、LANケーブル接続端子、外部入力・出力ポートなどが、機器の後面に突出して、壁に近すぎると、ケーブルが無理に曲げられたり、押されて切れる可能性があります。壁から15cm以上距離を置いてください。

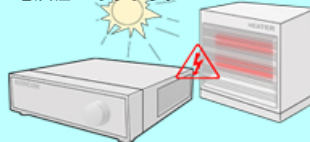
火災、感電、障害の原因となります。



本機を直射日光の届かない場所に置き、適切な温度を維持してください。ろうそく、暖房器具などのある、熱い場所には置かないでください。

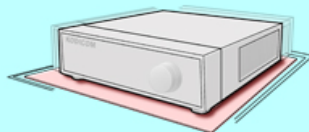
また、接続するオプション品などを、出入り口から離れた場所に置いてください。

火災の危険性があります。



密閉されていない平らなところに接地し、垂直に立てたり、傾けた状態でご使用にならないでください。

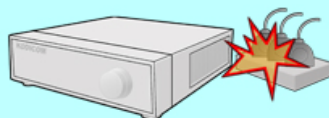
機器が倒れたり、落ちると、障害が生じる可能性があります。



本機動作のための入力電圧は、電圧変更の幅が規定の電圧の10%以内となっております。電源のコンセントは必ずアースされている必要があります。

また、電源のコネクターを繋ぐコンセントでは、ドライヤ、アイロン、冷蔵庫のような電熱器具と一緒に使わないでください。

異常発熱および火災、感電の原因となります。



**警告**

データを保存するHDDが寿命になると、録画された映像のデータが破損し、復旧されない可能性があります。録画中にHDDに保存されているデータを再生したときに、画面の映像が崩れている場合は、HDD寿命の可能性が高いため、直ちにお買い上げ店またはサービスセンターに依頼し、HDDを交換してください。

ユーザーの不注意によって破損したデータについては、当社は責任を負いかねます。



注意

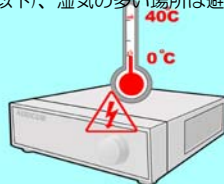
強力な磁性や電波のある場所、衝撃のある場所、ラジオやTVなどの無線機器に近い場所には設置しないでください。

磁石類や電波、激しい振動のない場所に設置してください。

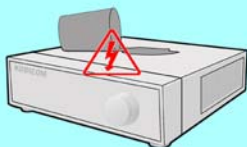


周りの温度と湿度が適切な場所に設置してください。

温度が高すぎる場所(40℃以上)、または低すぎる場所(0℃以下)、湿気の多い場所は避けてください。



製品の内部に異物が入らないようにしてください。故障の原因となります。



製品の上に重い物を載せないでください。故障の原因となります。



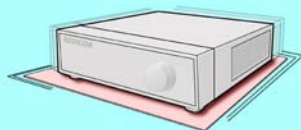
風通しのよい場所に置いてください。

後部は15cm以上、側面は5cm以上間隔をおいて設置してください。

また本体の通風孔をふさいだり、覆ったりしないでください。



平らで、安定した場所に設置してください。誤作動の可能性があります。

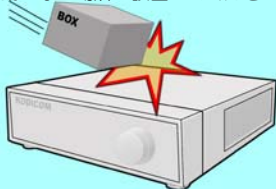




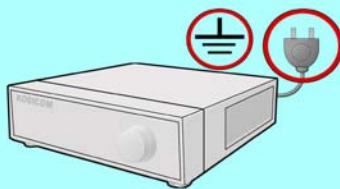
注意

強い衝撃や振動は、故障の原因となりますので、ご使用のときにはご注意ください。

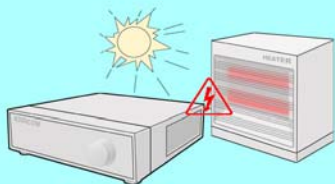
激しい振動のない場所に設置してください。



電源のコンセントは必ずアースしてあるものを使ってください。

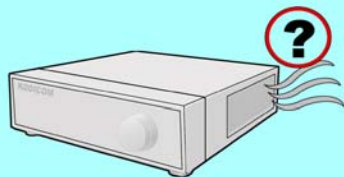


直射日光のあたる場所や熱器具の近くは避けてください。



異常音がしたり、匂いがするときはただちに電源プラグを抜き、お買い上げ店またはサービスセンターにお問い合わせください。

火災、感電の危険性があります。

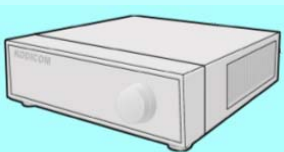


本機の性能を維持するためにはサービスセンターに依頼し、定期的に点検をお受けください。

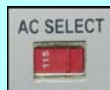
使用者の不注意による故障については、当社は責任を負いかねます。

警告

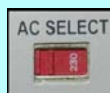
製品を逆さまにしないでください。



電源入力選択

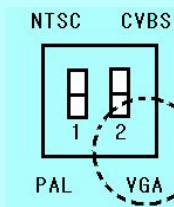


入力電源がAC110Vの場合、左側のように設定してください。



入力電源がAC230Vの場合、左側のように設定してください。

お知らせ

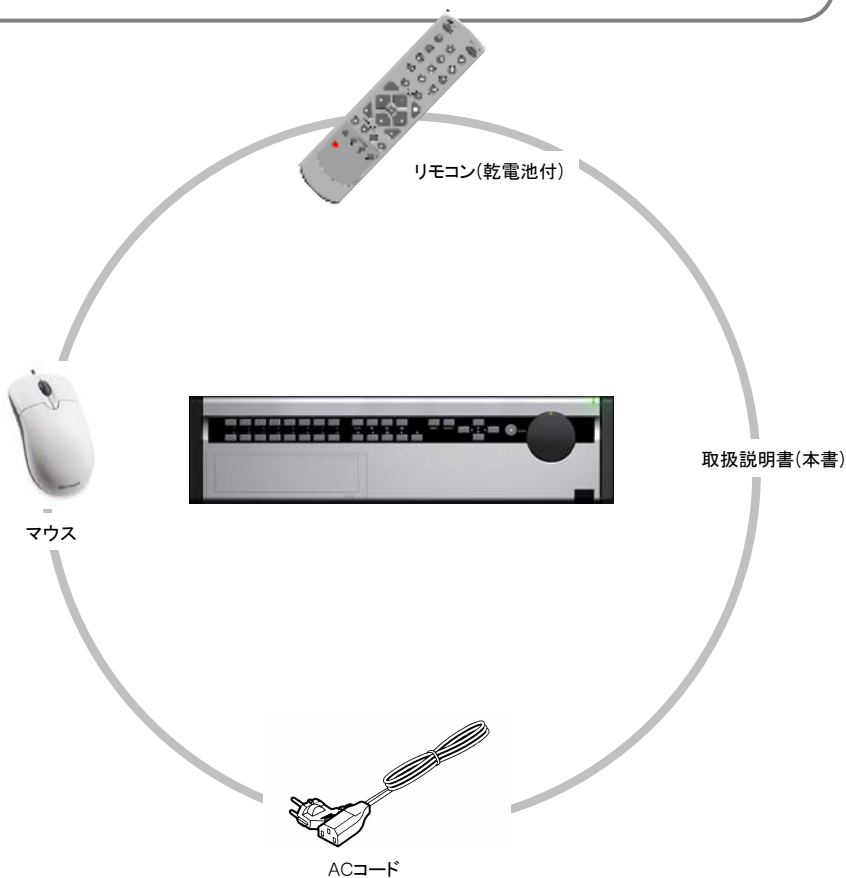


映像出力をVGAに選択した場合には、電源を入れてから約1分後に画面が出力されます。

内容の確認

購入時、下記の付属品があるか確認してください。

万一、付属品が足りない時には購入した店にお問い合わせください。



目次

1章. ZR-DA500J 使用説明書

| | |
|---------------------------------|----|
| 1. システム概要 | 15 |
| 1.1 各部の名称と機能 | 15 |
| 1.1.1 前面部 | 15 |
| 1.1.2 背面部 | 17 |
| 2. ライブ映像監視モード | 20 |
| 2.1 画面の構成 | 20 |
| 2.2 1画面拡大及び自動切替 | 21 |
| 3. メインメニュー | 22 |
| 3.1 ライブ映像監視モード画面のメインメニュー | 22 |
| 3.2 Pan/Tiltモード画面のメインメニュー | 23 |
| 3.3 録画検索モードのメインメニュー | 24 |
| 4. PAN/TILT カメラ | 25 |
| 4.1 Pan/Tilt コントロールモードと監視モード切替 | 25 |
| 4.2 Pan/Tilt カメラ制御 | 26 |
| 5. 録画検索モード | 27 |
| 5.1 録画検索モードの切替 | 27 |
| 5.2 サーチ画面 | 27 |
| 5.2.1 タイムラインの色表示 | 28 |
| 5.3 検索日付け及び時間の選択 | 29 |
| 5.3.1 検索日の変更 | 29 |
| 5.3.2 カメラ番号の選択及びタイムラインでの検索時間の指定 | 30 |
| 5.3.3 オーディオ出力 | 31 |
| 5.3.4 検索画面の再生 | 32 |
| 6. バックアップ | 33 |
| 6.1 バックアップ | 33 |
| 6.1.1 静止画像のバックアップ | 33 |
| 6.1.2 ウォーターマーク・チェックプログラムの使用方法 | 35 |
| 6.1.3 動画のバックアップ | 37 |
| 6.2 遠隔ドライブへのバックアップ | 39 |
| 7. システム設定 | 42 |
| 7.1 設定画面への切替え | 42 |
| 7.2 初期設定画面 | 42 |
| 7.3 システム設定 | 44 |
| 7.3.1 ユーザ管理 | 44 |
| 7.3.2 サイト情報 | 47 |
| 7.3.3 ソフトウェア アップグレード | 49 |
| 7.3.4 ログ情報 | 50 |
| 7.3.5 画面表示/切替時間 | 53 |
| 7.3.6 システム管理 | 54 |
| 7.3.7 システム終了 | 60 |
| 7.4 録画設定 | 62 |
| 7.4.1 カメラ毎の録画設定 | 62 |
| 7.4.2 モーション感知 | 63 |
| 7.4.3 モーションリンク設定 | 64 |
| 7.4.4 スケジュール | 65 |
| 7.4.5 画質/解像度 | 66 |

| | |
|----------------------|----|
| 7.5 カメラ設定 | 67 |
| 7.5.1 カメラ名 | 68 |
| 7.5.2 センサー設定 | 69 |
| 7.5.3 センサー/制御連動 | 70 |
| 7.5.4 センサー/カメラ連動 | 71 |
| 7.6 ネットワーク設定 | 72 |
| 7.7 バックアップ | 75 |
| 7.7.1 バックアップスケジュール追加 | 76 |
| 7.7.2 バックアップスケジュール削除 | 81 |
| 8. コントロール - 手動コントロール | 82 |
| 8.1 コントロールモードへの切替え | 82 |

2章. ZR-DA500J 設置方法

| | |
|-------------------|----|
| 1. PAN/TILTカメラの接続 | 84 |
| 2. LAN通信回線接続 | 85 |
| 3. 外部センサーの接続 | 86 |
| 4. 外部コントロール機器の接続 | 87 |

付録

| | |
|------------------|----|
| 1. 専用ビューワ | 89 |
| 1.1 専用ビューワ実行 | 89 |
| 1.2 専用ビューワ・メイン画面 | 91 |
| 2. 主な仕様 | 93 |
| 3. Q&A | 95 |

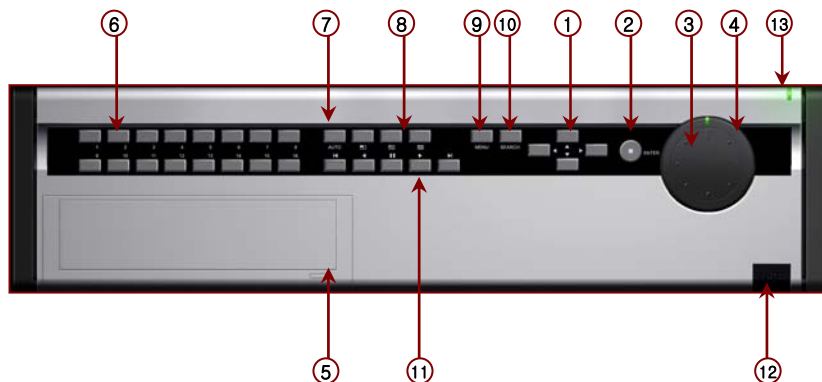
1章 ZR-DA500J 使用説明書

| | |
|------------------|----|
| 1. システム概要 | 15 |
| 2. ライブ映像監視モード | 20 |
| 3. メインメニュー | 22 |
| 4. PAN / TILTカメラ | 25 |
| 5. 録画検索モード | 27 |
| 6. バックアップ | 33 |
| 7. システム設定 | 42 |
| 8. コントロール | 82 |

1. システム概要







1.1 各部の名称と機能

1.1.1 前面部

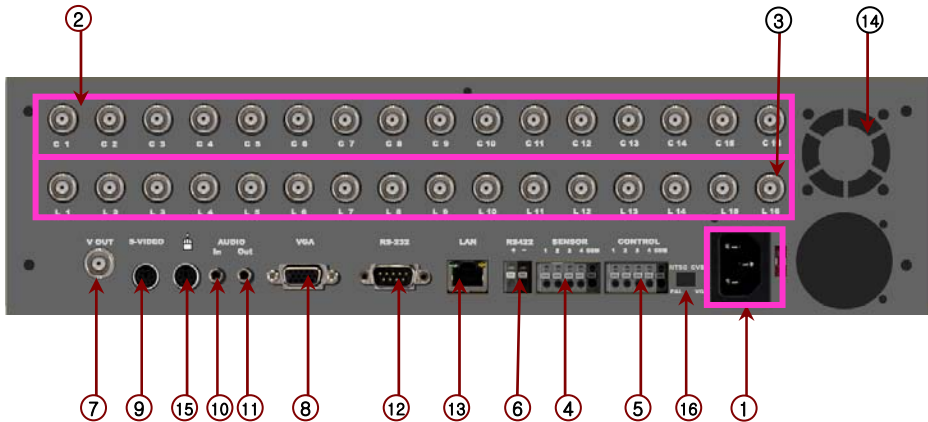


[図 1-1. 本機前面部]

- ① **【上/下/左/右 カーソル/方向ボタン】**
 - 設定画面及び検索画面で、メニューのカーソル移動時に使用します。
 - PTZ カメラ制御時、カメラの上下左右方向の制御ができます。
- ② **【実行ボタン】**
 - 設定画面及び検索画面で、各メニューに表示されているボタンを確定する時に使用します。
 - システム終了後、実行ボタンを3秒間押すと電源が入り、システムが再始動します。
- ③ **【ジョグ】**
 - 検索時、映像をコマ送り再生することができます。
 - 設定変更時、設定値を段階的に変更することができます。
 - PTZ カメラ制御時、カメラのピントを調整することができます。
- ④ **【シャトル】**
 - 検索時、再生のスピード調整、早送り・早戻し再生ができます。
 - 設定変更時、設定値を段階的に変更させることができます。
 - PTZカメラ制御時、ズーム イン/アウト操作ができます。

- ⑤ **[イジェクト] ボタン**
- CD-ROMドライブの開閉時に使用します。
- ⑥ **[カメラ番号] ボタン**
- ライブ映像や再生映像のチャンネルを切り替え、選択したカメラを一画面に拡大表示します。
 - 設定画面及び検索画面に切り替える場合、パスワードを入力することができます。
 - ZR-DA516Jではボタン16個、ZR-DA509Jではボタン9個、ZR-DA504Jではボタン4個となります。
- ⑦ **[Auto] ボタン**
- ライブ映像監視モードでカメラ番号ボタンを利用して一画面に拡大後、チャンネル別に自動切替表示します。
 - ライブ映像監視モードで4分割[]、9分割[]、16分割[] ボタンを利用して分割画面にした後、チャンネル別に自動切替表示します。
- ⑧ **[分割画面切替] ボタン**
- 監視モードまたは検索モードで一画面に拡大された映像を4分割[]、9分割[]、16分割画面[] モードに切り替える場合に使用します。
- ⑨ **[MENU] ボタン**
- 設定画面に切り替える時、使用します。
- ⑩ **[SEARCH] ボタン**
- 検索画面に切り替える時、使用します。
- ⑪ **[検索用機能] ボタン**
- 検索画面で映像を検索する時、録画された映像の一番最初のデータ(◀)や一番最後のデータ(▶)への移動、順方向(▶)や逆方向再生(▶)、及び一時停止(■)の時に使用します。
- ⑫ **[USB端子]**
- 録画された映像をバックアップする場合、USBフラッシュ・メモリー等USB1.1対応機器を端子に接続してバックアップすることができます。
 - 本機のプログラム・アップグレードの場合、USB端子を通じてシステムをアップグレードすることができます。
- ⑬ **[電源表示ランプ]**
- 本機の電源がオンの時に、LEDが緑色に点灯します。

1.1.2 背面部



[図 1-2. 本機背面部]

① [電源入力端子]

- 付属の電源コードを接続します。



[注意]

- システムに主電源を入力する前に、必ず定格電圧をチェックして下さい。不適合な電源、電圧を使用すると、システムが破損する可能性があります。
- 感電の恐れがありますので、[安全上の警告及び注意事項]をお読みください。

② [映像入力端子]

- 映像信号入力端子(BNC接栓)です。
- 各モデル毎で端子が、ZR-DA516Jでは16個、ZR-DA509Jでは9個、ZR-DA504Jでは4個となります。

③ [映像出力端子]

- 映像信号出力端子(BNC接栓)です。
- 各モデル毎で端子が、ZR-DA516Jでは16個、ZR-DA509Jでは9個、ZR-DA504Jでは4個となります。

- ④ **【アラーム入力端子】** (→P. [86](#))
 - 1~4 チャンネルのアラーム信号入力端子台です。
 - NCとNOタイプのアラームを接続することができます。
- ⑤ **【コントロール出力端子】** (→P. [87](#))
 - アラーム入力端子よりアラーム信号が入力されたら出力します。
- ⑥ **【RS-422出力端子】** (→P. [84](#))
 - PTZ カメラを制御するためのRS-422/485信号を出力する端子です。
- ⑦ **【V-Out 出力端子】**
 - モニター映像出力端子(BNC接栓)です。
- ⑧ **【VGA 出力端子】**
 - RGB方式のPC モニター映像出力端子(D-Sub15ピン)です。
- ⑨ **【S-VIDEO 出力端子】**
 - S-VIDEO(Y/C)方式のモニター映像出力端子です。
 - V-Out出力端子との同時出力が可能です。
- ⑩ **【音声入力】**
 - 音声信号の入力端子(Φ3.5ジャック)です。
- ⑪ **【音声出力】**
 - 音声信号の出力端子(Φ3.5ジャック)です。
- ⑫ **【RS-232C端子】**
 - RS-232Cに対応した外付モデム用端子です。
- ⑬ **【LAN】** (→P. [85](#))
 - 遠隔接続のためのイーサネット 10/100(Mbps)接続端子(RJ-45)です。

⑭ 【放熱ファン】

- 機器内部の熱を外部へ排出していますので塞がないでください。

⑮ 【マウス用P/S2端子】

- 付属のマウスを接続します。

⑯ 【映像入出力設定スイッチ】

- 映像入出力方式を選択する端子です。
- NTSC・PAL：入力方式は製品出荷時、NTSC側に初期設定されています。
- CVBS・VGA：「CVBS」は監視モニターまたは家電TV用(NTSC方式)、「VGA」はPCディスプレイ用(RGB方式)です。

**【参考】**

「VGA」選択時、V-Out及びS-VIDEO出力端子からも、ライブ映像画面が連動して、同時出力されます。

但し、カメラ名称、メニュー設定などのOSD(文字表示)は非表示となります。

また、メインモニタ(VGA)側で録画再生中は、V-Out及びS-VIDEO出力端子からは、ライブ映像出力のみとなります。ライブ映像の種類(フル画面や各分割画面)は、再生前のVGA側のライブ画面と同じ種類の画面が出力されます。

2. ライブ映像監視モード

2.1 画面構成



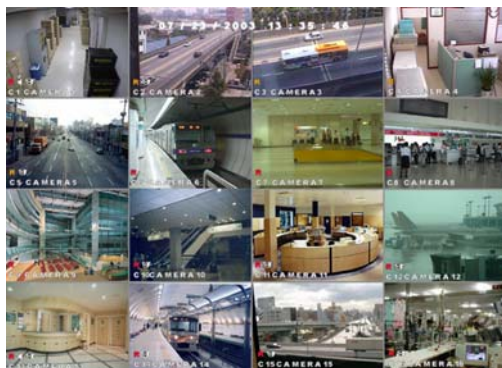
[図 2-1. メイン監視画面]

- ① **【カメラ番号】**
 - 各チャンネルのカメラ番号を表示します。
- ② **【カメラ名称】**
 - 各カメラ名称を表示します。(→P. 67)
- ③ **【録画状態の表示】**
 - 各カメラの録画状態を表示します。(→P. 65)
- ④ **【PTZ】**
 - PTZカメラのコントロール状態を表示します。(→P. 23)
- ⑤ **【音声の録音状態を表示】**
 - 音声録音状態を表示します。(→P. 62)

| 録画の種類 | 録画モード及び画面表示状態 | |
|---|---------------------------|--------------|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ C : 連続録画 ・ M : モーション録画 ・ S : センサー録画 ・ P : プリアラーム録画 | ・ 録画なし | 表示なし |
| | ・ 連続録画 | 赤色 REC |
| | ・ モーション録画 | オレンジ色 REC |
| | ・ センサー録画 | |
| | ・ モーション & センサー録画 | |
| | ・ モーション & プリアラーム録画 | |
| | ・ モーション & センサー & プリアラーム録画 | |
| ・ センサー & プリアラーム録画 | | |

[表 2-1. 録画の種類別の設定可能な録画モード及び表示]

2.2 1画面拡大及び自動切替



[図2-2. 16分割画面例]



[図 2-3. 9分割画面例]




[図 2-4. フル画面例]


[1画面の拡大]

- ・ 拡大したいカメラ映像にマウス・ポインタを当てクリックすると、選択したカメラの映像がフル画面表示されます。更に再度クリックすると、元の画面に戻ります。
- ・ 本体前面の各カメラ番号ボタンを押しても、フル画面表示します。


[4分割画面]

- ・ マウスのホイール・ボタンをスクロール、または本体前面の4分割ボタン()を押すと、4分割画面表示します。

[9分割画面]

- ・ マウスのホイール・ボタンをスクロール、または本体前面の9分割ボタン()を押すと、9分割画面表示します。

[16分割画面]

- ・ マウスのホイール・ボタンをスクロール、または本体前面で16分割ボタン()を押すと、16分割画面表示します。

[自動切替画面]

- ・ フル/4/9の各分割画面状態でマウスで[A]ボタン(→次頁)をクリックすると、フル/4分割/9分割画面を自動切替します。
- ・ 自動切替の時間設定は、[システム設定]メニューの[OSD/自動画面/切替時間]項目で設定することができます。(→P. 53)

3. メインメニュー

3.1 ライブ映像監視モードのメインメニュー

マウスを右クリックすると、画面にメインメニューが表示されます。



[図 3-1. ライブ映像監視モードのメインメニュー]

① [メニュー]ボタン

- システム設定画面(→P. 42)に切替えます。

④ [A]ボタン

- ライブ映像監視モードで、フル/4分割/9分割の場合、自動切替表示(→前頁)します。

② [サーチ]ボタン

- 録画検索モード画面(→P. 27)に切替えます。

⑤ [分割画面切替]ボタン

- ライブ映像監視モードで、各ボタンをクリックすると、画面を4分割[], 9分割[], 16分割[]画面表示に切替えます。

③ [コントロール]ボタン

- コントロール画面(→P. 82)へ切替えます。

☞ 【参考】マウスの右ボタン

- ライブ映像監視モードで、マウスを右クリックする毎に、メインメニュー表示・非表示が切り替ります。
- システム設定画面で右クリックすると、ひとつ前の画面に戻ります。

3.2 PAN/TILT モード画面のメインメニュー

ライブ映像監視モード画面で、Pan/Tilt設定したカメラをフル画面表示した後、右クリックすると表示されます。



[図 3-2. PAN/TILTモード画面のメインメニュー]

① [PTZ]ボタン

- Pan/Tilt制御画面(→P. 25)に切替えるボタンです。
- ライブ映像監視モードでPan/Tilt設定したカメラをフル画面表示した後、右クリックしてメインメニューを表示させます。

④ [Focus +/-]ボタン

- カメラレンズのピントを調節します。
(オートフォーカス・レンズの場合は使えません。)

☞ [参考] マウス右ボタン

- Pan/Tiltモードの画面で、右クリックする毎に、メインメニュー表示・非表示が切り替ります。

② [Pan/Tilt 方向]ボタン

- Pan/Tilt モード画面で、カメラの方向を上下/左右に制御することができます。

③ [Zoom +/-]ボタン

- Pan/Tilt カメラのズーム イン/アウトを制御することができます。

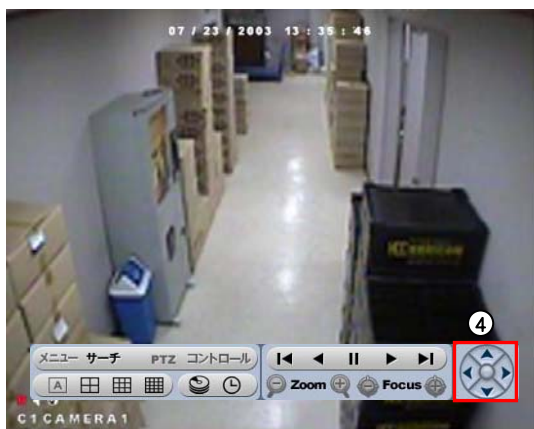
3.3 録画検索モードのメインメニュー

録画検索モードで、マウスを右クリックすると画面に表示されるメニューです。



[図 3-3. 分割画面検索でのメインメニュー]

- ① [サーチ]ボタン
 - ・ライブ映像画面へ切替えます。(→P. 20)
- ② [バックアップ]ボタン
 - ・バックアップ画面へ切替えます。(→P. 33)



[図 3-4. フル画面検索でのメインメニュー]

- ③ [検索用機能ボタン]
 - ・検索画面で映像を検索する時、録画された映像の一番最初のデータ(|◀)や一番最後のデータ(▶|)への移動や、順方向(◀)や逆方向再生(▶)、及び一時停止(⏸)の時に使用します。
- ④ [方向]ボタン
 - ・フル画面及び各分割画面で、◀▶ボタンをクリックすると、1コマずつ再生できます。
 - ・フル画面検索の時、▲▼ボタンを選択して映像の拡大及び縮小を調節することができます。

4. PAN/TILT カメラ

4.1 Pan/Tilt & ライブ映像監視モードの切替



[図 4-1. PTZ設定されたカメラのフル画面表示例]

[Pan/Tilt カメラ制御]

- Pan/Tilt カメラがフル画面表示された状態で、マウスを右クリックして、メインメニューの「PTZ」ボタン(→P. 23)をクリックすると、PTZ制御画面が表示されます。



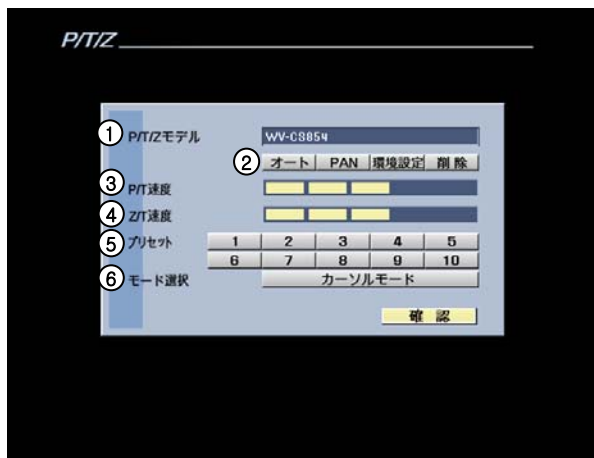
[図 4-2. PTZ 制御画面]

[Pan/Tilt制御終了]

- PTZ制御画面で [確認] ボタンを選択するとフル画面状態の監視画面に切替わります。

4.2 Pan/Tilt カメラ制御

PTZカメラに対して、手動で方向転換及びズーム、ピント、オートパン機能等が制御できます。



[図 4-3. PTZカメラの制御画面例]

① [P/T/Z モデル]

- 本機で制御可能なPTZカメラの機種を選択します。
- マウスのスクロール・ボタンを使って、機種を指定し、確認ボタンをクリックし確定します。

② [P/T/Z 機能ボタン]

- 選択した PTZカメラの各動作などが制御できます。
- 設定された PTZカメラ機種によって、制御可能なボタンが異なります。

③ [P/T 速度]

- マウスを利用してPan/Tiltの上/下/左/右の動作速度を段階的に設定することができます。
- P/T速度調節はマウスを利用して設定することができます。

④ [Z/F 速度]

- マウスでズーム/ピントを調節する場合、動作速度を段階別に設定することができます。
- ズーム/ピントの速度調節は、マウスで設定することができます。

⑤ [プリセット]

- プリセットの各番号に任意の位置を設定した後、ボタンをクリックすると、設定された位置に移動します。

⑥ [モード選択]

- [カーソルモード]で実行キーを選択すると、[P/T Mode]に転換されます。
- プリセット番号別に位置を記憶させるためには[カーソルモード]を [P/T モード] に切り替えた後、マウスをクリックすると、Pan/Tilt カメラの方向を移動させることができます。



[注意]

- プリセット制御中は、PTZカメラ画像に図4-3のようなPTZ制御画面が、網掛け状態で表示されます。

5. 録画検索モード

5.1 録画検索モードの切替

録画検索モードに切り替えるには、メインメニューで[サーチ] ボタン(→P. 24)をクリックすると、下のよう
ログイン画面が表示されます。



[図 5-1. ログイン画面]

- マウスを利用して4桁数字のパスワードを入力し、確認ボタンをクリックすると、録画検索モードに切り替わります。
- パスワードを忘れた場合は変更ができなくなります。登録したパスワードは別な場所にメモを取り、管理してください。
- パスワードの設定及び変更は、「P. 44」を参照してください。
- パスワード入力を取消したり、ライブ映像監視モードに戻るには、「キャンセル」ボタンをクリックしてください。

【参考】選択/確認/終了メニュー

画面下部に表示されている選択/確認/終了メニューは、本機前面ボタンの操作説明です。マウスでクリックしても動作連動しません。

5.2 サーチ画面

パスワードを入力し、[確認]をクリックすると、以下のサーチ画面が表示されます。



[図 5-2. サーチ画面例]

- サーチ画面で検索したい年、月、日とカメラ番号、検索時間などを指定することができます。
- 検索する日付を選択するためには、「日付」ボタンをクリックするとカレンダーが表示され、カレンダー上で検索したい日付を選択することができます。
- 録画データが、カメラ及び時間帯別にグラフで表示されます。
- 音声録音されたカメラは、映像と同時に音声出力されます。
- 年/月/日/時間及び検索するカメラ番号を選択した後、「確認」ボタンをクリックすると、検索画面に切り替わります。
- サーチ画面から上下ボタン[▲▼]をクリックすると、全てのカメラ番号を表示することができます。

5.2.1 タイムラインの色表示



・録画種類及び時間帯毎のデータを、グラフに表示する機能です。

(参照:「表5-1. 録画種類別グラフ色の表示例」)

[図 5-3. タイムラインの色表示]

| 色の種類 | 表示内容 | 表示例 |
|--------|----------|-----|
| ・ 紫 | 連続録画 | |
| ・ 青 | モーション録画 | |
| ・ 緑 | プリアラーム録画 | |
| ・ オレンジ | センサー録画 | |
| ・ 赤 | 音声録音 | |

[表 5-1. 録画種類別グラフの色表示例]

5.3 検索日付け及び時間の選択

5.3.1 検索日の変更



[図 5-4. サーチ画面での日付けボタン選択]

- ・「日付」ボタンをクリックすると、日付検索(カレンダー)画面に切り替わります。



[図 5-5. 日付検索(カレンダー)画面例]

- ・ 検索する日付けを指定するためにはマウスを利用して年、月、日及び時間を変更することができます。

① [年/月変更]

- ・ カレンダー上部の(◀▶) 左右ボタンをクリックすると年、月が変更されます。

② [日付選択]

- ・ 検索したい日付をクリックします。選択された日付は、青色の四角枠が表示されます。録画データが無い日付及び検索現在日以降の日付は、選択不可となります。
- ・ 録画データが保存されている日付はオレンジ色に反転表示されます。

(参考：→ [次頁](#)『表5-2. 日付・色別表示例』)

③ [時間/分/秒]

- ・ 検索する時間、分、秒を指定するためには、まず各設定項目箇所をクリックして選択状態にし、マウスのホイール・ボタンで変更します。

☞ 【参考】時間/分/秒の指定

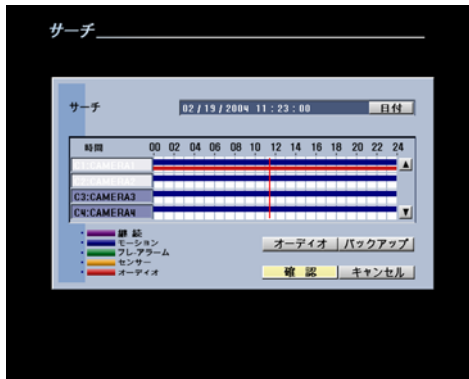
サーチ画面のタイムラインからでも、時間/分/秒の指定が可能です。

| 色 | 説明 | 表示例 |
|--------|----------------|-----|
| ・オレンジ色 | 録画データが保存されている日 | 10 |
| ・赤色 | 公休日 | 10 |
| ・黒色 | データが保存されていない日 | 10 |
| ・黄色四角形 | 選択検索日 | 10 |
| ・青色四角枠 | 検索日を指定するカーソル | 10 |

・検索する日付けを指定した後、「確認」ボタンをクリックすると、指定日の録画グラフが表示されます。

[表 5-2.日付・色別表示例]

5.3.2 カメラ番号の選択及びタイムラインでの検索時間の指定



[図 5-6.カメラボタンの選択及び検索時間の指定]

[カメラ番号選択]

・ 検索するカメラ番号を指定するためには、マウスでカメラ番号をクリックします。

カメラ番号及び青色の網掛け状態: カメラ選択

白色反転(カメラ番号表示無し)状態: カメラ非選択

[タイムラインでの時間変更]

・ タイムラインで検索する時間を変更する場合、マウスのホイール・ボタンを利用して、グラフ上で時間の変更します。

[参考] ジョグ及びシャトル

- ・ ジョグダイヤル: 分単位で検索する時間を指定できます。
- ・ シャトルリング: 時間、分、秒、他の設定を変更する場合、数字を早く変更することができます。

5.3.3 オーディオ出力



【オーディオ】

- 録画された映像と一緒に音声を再生する機能です。
- 音声を再生するためには、マウスで「オーディオ」ボタンを選択した後、「確認」ボタンをクリックしてください。映像と一緒に再生できます。

[図 5-7.オーディオボタン選択]

☞ 【参考】

- カメラ1チャンネルのみ、音声録音ができます。
- 「オーディオ」ボタンを選択した場合、カメラ1チャンネルのみ選択が可能になります。
「オーディオ」ボタンを選択した後、音声録音されている該当チャンネルを選択してください。
- 16台カメラの内、音声録音できるカメラ番号を変更することができます。(→P. 62)

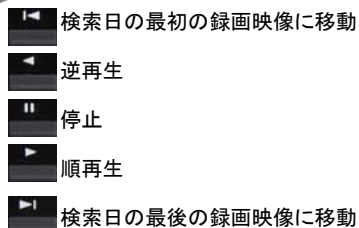
5.3.4 検索画面の再生



[図 5-8. 検索初期画面]



[図 5-9. 再生画面例]



[表 5-3. 検索画面の再生ボタン機能]

[映像再生]

- サーチ画面で、年/月/日/時間及び検索するカメラ番号を選択した後、[確認]ボタンをクリックすると検索画面に切り替わり、再生がスタートします。
- 再生中に右クリックすると、メインメニューが表示されます。

[フル画面検索]

- 検索中に特定画面を拡大するためには、マウスで該当カメラ映像をクリックして、指定したカメラの映像をフル画面に拡大して検索することができます。

[デジタルズーム]

- フル画面状態から、任意の箇所デジタルズームが可能です。
- デジタルズームをかけたカメラをフル画面状態にして、一時停止状態にします。
- (Zoom +/-)ボタンを選択し、画面上のズームしたい箇所にマウスポインタを当て、クリックする毎に、選択部分を中心に映像が段階的に拡大する機能です。
- 9段階のクリックで、最大4倍のデジタルズームが可能です。

[再生速度の設定]

- 再生状態で ボタンまたは ボタンをクリックします。

(逆再生)：再生時、録画された映像を逆方向に再生します。逆再生中に ボタンをクリックすると、より速く再生されます。

(逆再生ボタンをもう一度クリックすると、通常速度で再生されます。)

(順再生)：再生の時、録画された映像を順方向に再生します。順再生中に ボタンをクリックすると、より速く再生されます。

(順再生ボタンをもう一度クリックすると、通常速度で再生されます。)

6. バックアップ

6.1 バックアップ

- サーチ画面で [バックアップ] ボタンを選択し、録画された映像を CD-R・RWメディア、USBフラッシュメモリー等に静止画(BMP、JPEG形式) または動画(KDB、SFX形式)にてバックアップすることができます。

6.1.1 静止画像のバックアップ



[図 6-1. バックアップボタンの選択]



[図 6-2. バックアップ初期画面]

[サーチ画面からのバックアップ]

- 録画映像の中からバックアップしたい映像を選択し、[バックアップ]ボタンキーをクリックします。
- [図 6-1]画面で[バックアップ]ボタンをクリックすると、[図 6-2]のような画面が表示されます。

① [バックアップ]

- 該当箇所をクリックして選択状態にした後、マウスのホイールボタンを利用して、下記の何れかの方式から選択します。

「Still Image (BMP)」: BMP形式

「Still Image (JPEG)」: JPEG形式

② [開始時間]及び[終了時間]

- バックアップする録画映像の開始時間と終了時間を指定します。
- 開始時間は、検索中の時刻の2分前に自動的に設定されます。
- 終了時間は、検索中の時刻に自動的に設定されます。

③ [メディア選択]

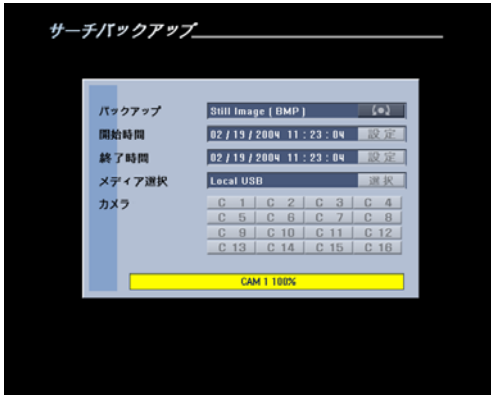
- バックアップするメディアを指定します。
- バックアップ可能なメディアは、CD-R・RWまたはUSBフラッシュメモリー等のUSB(1.1)対応機器になります。

④ [カメラ]

- バックアップしたいカメラ番号を選択します。
- BMP または JPEG形式でバックアップする場合、再生中に選択されたカメラ番号が自動的に設定され、その他のカメラは選択できません。

☞ [参考] 再生画面からのバックアップ

- 再生画面からメインメニューを表示させ、バックアップボタン(→P. 24)をクリックすれば、サーチバックアップ画面を表示可能です。
- デジタルズームなどでフル画面状態のまま、サーチバックアップ画面に移行すると、その表示されたカメラ番号のみが自動的に選択されます。

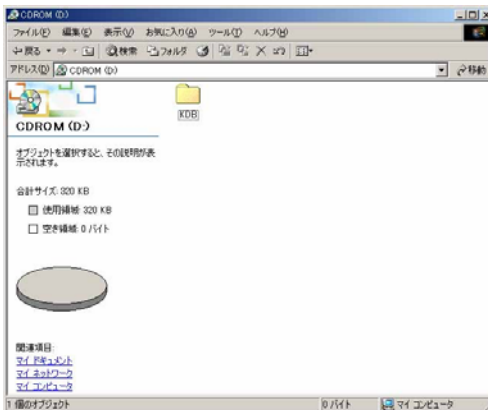


[図 6-3. バックアップ進行画面]

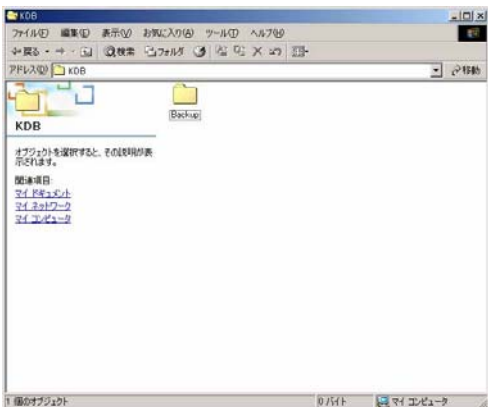
- [図 6-2]で[確認] ボタンをクリックすると、バックアップ進行状態がバー形式で表示されます。
- バックアップが完了すれば、検索初期画面に切り替わります。
- [図 6-1] 画面で[バックアップ] ボタンをクリックすると、[図 6-3]のような画面が表示されます。

【参考】画像改ざんチェックソフト (VM Checker)

- BMPまたはJPEG形式で静止画をバックアップした場合、画像改ざんチェックソフト (VM Checker) が自動的にバックアップメディアに保存されます。



バックアップしたデータを別のPCで開くと、左図のように、『KDB』フォルダが作成されています。

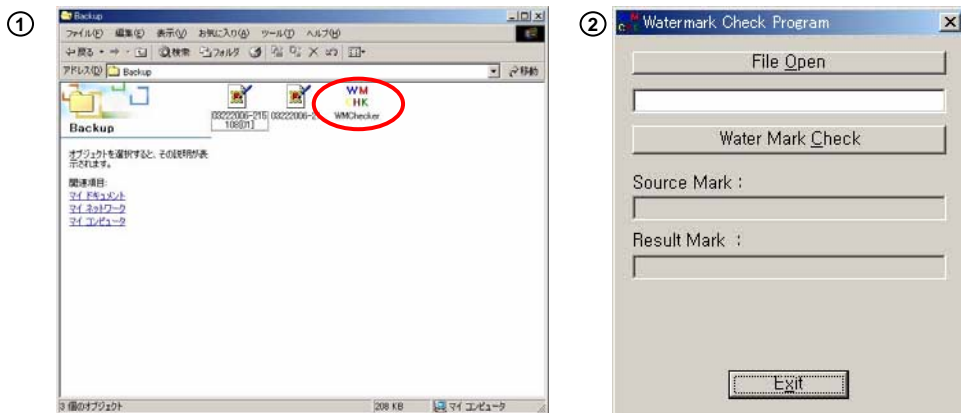


『KDB』フォルダを開くと、『Backup』フォルダが作成されています。このフォルダ内に、バックアップデータが保存されています。

6.1.2 ウォーターマーク・チェックプログラムの使用方法

ウォーターマーク機能とは、本機で録画された映像と共に「電子透し」を埋め込み、録画画像の改ざんをチェックできるものです。この機能により、本機で録画されたオリジナルデータが保護され、不正な二次使用を防止できます。

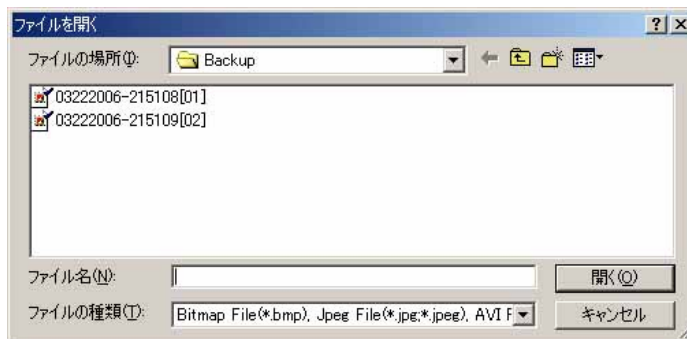
BMP、またはJPEG形式でバックアップされた画像の改ざんの有無を確認できます。



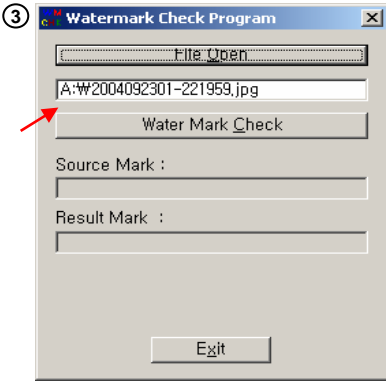
① 【ウォーターマーク・チェック】

別のパソコンで保存されたデータの中身を閲覧すると、『該当ドライブ』⇒『KDB』⇒『Backup』フォルダにバックアップ画像と一緒にコピーされた『WMChecker.exe』が表示されます。『WMChecker.exe』をダブルクリックして実行すると、②のような『Watermark Check Program (ウォーターマーク・チェックプログラム)』画面が表示されます。

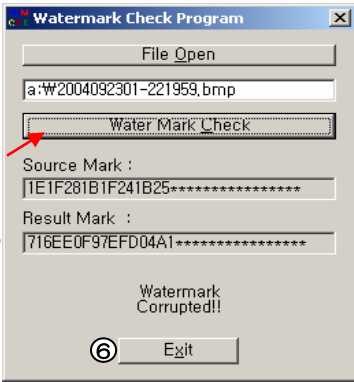
② ・ドライブに保存された映像ファイルを選択するために『File Open (開く)』ボタンをクリックすると、以下のような『ファイルを開く』ウィンドウが表れます。



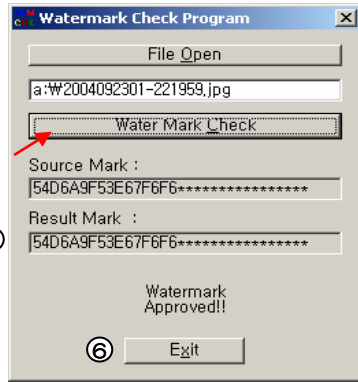
- ③ ・バックアップされた画像ファイルを選択した後、「開く」ボタンをクリックすると、次のように録画時間とカメラ番号情報が入った映像ファイル名が表示されます。



- ・選択されたバックアップ画像ファイルに対して[Water Mark Check]ボタンをクリックすると、次のようにバックアップされた映像イメージに対する改ざんの有無が表示されます。



④ [改ざんされた映像の場合]



⑤ [改ざんされていない映像の場合]

- ④ [Source Mark]と[Result Mark]の文字列が異なる場合

“Watermark Corrupted!!”



改竄されたデータ!!

- ⑤ [Source Mark]と[Result Mark]の文字列が同じ場合

“Watermark Approved!!”



改竄なし

- ⑥ [ウォーターマーク・チェックプログラムの終了方法]

『Exit』ボタンをクリックします。

6.1.3 動画のバックアップ



【図 6-4. バックアップ初期画面】

① 【バックアップ】

- ・ 該当箇所をクリックして選択状態にした後、マウスのホイールボタンを利用して、下記の何れかの方式から選択します。

「Video (KDB)」: KDB方式。複数カメラ・バックアップ対応

「Video (SFX)」: SFX形式。1台のカメラのみバックアップ


② 【開始時間】と【終了時間】

- ・ バックアップする録画映像の開始時間と終了時間を指定します。
- ・ 【開始時間】または【終了時間】を指定するためには、【設定】ボタンをクリックした後、マウスのホイールボタンを利用して、開始時間と終了時間を指定します。
- ・ 開始時間は、検索中の時刻の2分前に自動的に設定されます。
- ・ 終了時間は、検索中の時刻に自動的に設定されます。

③ 【メディア選択】

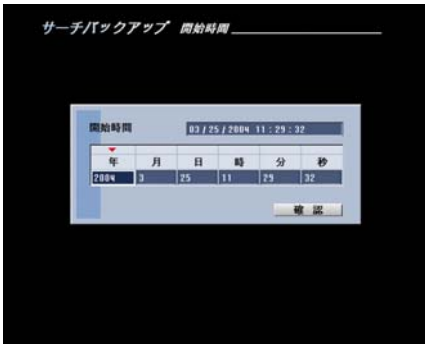
- ・ 【メディア選択】で【選択】ボタンをクリックして、「サーチバックアップ ドライブ」画面(→[次頁](#) 図6-7)の「ドライブ選択」の箇所をクリックし、ホイールボタンを利用して、「Local USB」または「Local CD-RW」を選択します。

④ 【カメラ】

- ・ バックアップするカメラ番号を選択します。KDB形式では、バックアップするカメラを複数選択することができます。
- ・ SFX形式では、バックアップするカメラ番号を一つだけ選択します。
- ・ 動画方式でバックアップ中は、検索再生画面の上部にバックアップ・アイコン  と作業状態バー形式で表示されます。

【参考】

- ・ KDB形式でバックアップする場合、映像と一緒に音声もバックアップされます。
- ・ SFX形式では、音声バックアップに対応していません。
- ・ CD-R・RWにKDB形式でバックアップしますと、そのメディアに自動的に専用ビューソフトも書き込まれます。PCにそのメディアを再生すると、ビューソフトが自動的に起動されます。



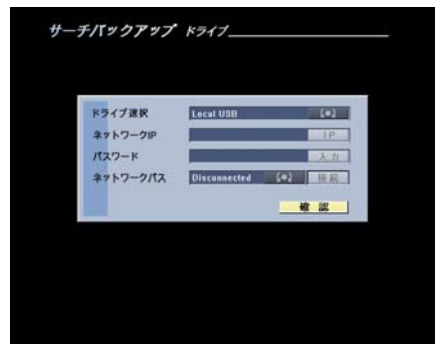
[図 6-5. バックアップ開始時間の指定]



[図 6-6. バックアップ 終了時間の指定]

[バックアップ開始時間と終了時間の指定]

- 年/月/日と時間/分/秒の各項目をクリックした後、マウスのホイールボタンを利用してバックアップしたい開始時間及び終了時間を指定します。
- [確認] ボタンをクリックすると、指定されたバックアップ[開始時間]と[終了時間]が確定されます。



[図 6-7. バックアップ・ドライブの指定]

[ドライブ選択]

- ・ドライブ選択箇所をクリックして、マウスのホイールボタンを利用して『Local USB』、『Local CD-RW』と『Remote Drive』を選択することができます。
- ・録画映像を選択したドライブにバックアップします。

🔍 [参考] USBバージョン

- 現在、ZR-DA500J では、USBバージョン1.1を採用しています。USBバージョン2.0機器を接続しますと、バージョン1.1として使用可能です。

6.2 遠隔ドライブへのバックアップ

6.2.1 遠隔ドライブへのバックアップ

- サーチ画面で[バックアップ] ボタンを押して、ネットワークドライブを指定し、KDBまたはSFX 動画形式でバックアップすることができます。

① [バックアップ]

- KDBとSFX動画の形式を選択し、録画された映像を遠隔ドライブに保存することができます。
- バックアップ設定箇所をクリックし、マウスのホイールボタンで『Video (KDB)』または『Video (SFX)』を選択します。


② [開始時間] 及び [終了時間]

- バックアップする録画映像の開始時間と終了時間を指定します。
- [開始時間] または [終了時間]を指定するためには、マウスで[設定] ボタンをクリックした後、マウスのホイールボタンで開始時間と終了時間を指定することができます。

③ [メディア選択]

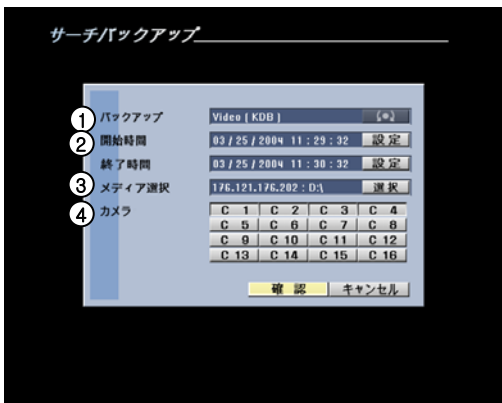
- [メディア選択]箇所をクリックすると「サーチバックアップドライブ」画面(→前頁 図6-7)に表示が切り替わります。[ドライブ選択]箇所をクリックし、[Remote Backup]を選択します。
- バックアップできるメディアは、ネットワークを利用した遠隔ドライブが指定可能になります。

④ [カメラ]

- バックアップしたいカメラ番号を選択します。
- KDB形式でバックアップする場合、カメラ番号を複数選択することができます。
- 動画方式でバックアップ中は、監視画面で該当チャンネルにアニメーション・アイコンが  表示されます。



[図 6-8. バックアップ ボタン 選択]



[図 6-9. バックアップ 初期画面]

☞ [参考]

- 遠隔映像バックアップは、KDBまたはSFX形式のみとなります。
- インターネット経由の場合、サイト・センター両方にグローバルIPを準備してください。



[図 6-10. バックアップ 開始時間の指定]



[図 6-11. バックアップ 終了時間の指定]

[バックアップ 開始時間と終了時間の指定]

年/月/日と 時間/分/秒の各項目をクリックした後、マウスのホイールボタンを利用してバックアップしたい時間を設定することができます。

- [確認] ボタンを選択すると、指定されたバックアップ[開始時間]と[終了時間]が確定されます。



[図 6-12. 遠隔ドライブの指定]

[ドライブ選択]

- 「ドライブ選択」の箇所をクリックして、マウスのホイールボタンを利用して『Remote Drive』を選択することができます。

• 本機がLANまたはインターネット回線に接続されている場合、入力されたIPアドレスの特定ドライブにバックアップすることができます。

• IPアドレスを利用して遠隔ドライブにバックアップするためには、指定されたIPアドレスのPCまたはファイルサーバに『ZR-DA Center 500』(同梱ソフト)をインストールしてください。また、そのソフトのBackup Serverプログラムを起動してください。

• 遠隔ドライブへのバックアップには、Backup Serverプログラムが実行されている遠隔地PCまたはファイルサーバのIPアドレスと接続パスワードが必要です。



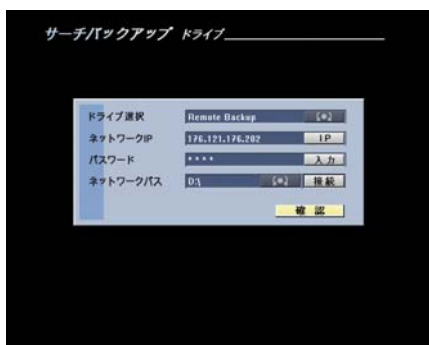
[図 6-13. 遠隔ドライブIPアドレスの入力]



[図 6-14. ネットワークパスワードの入力]

【ネットワーク IP】と【パスワード】

- Backup Serverプログラムが実行されているPC、またはファイルサーバのIPアドレスとパスワードを入力するためには、マウスを利用して入力した後、確認ボタンを押すと、入力されたネットワーク・アドレスとパスワードを確定することができます。



[図 6-15. 遠隔ドライブの接続]



[図 6-16. 遠隔ドライブ適用画面]

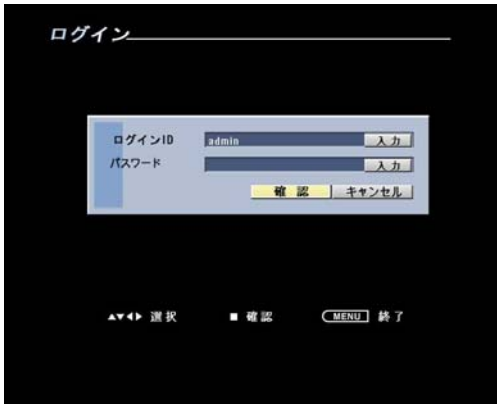
【接続】

- 接続する遠隔バックアップドライブのIPアドレスと接続パスワードを入力した後、[確認]ボタンを選択すると、該当IPアドレスのPCまたはファイルサーバに位置している特定ドライブを遠隔バックアップドライブとして指定することができます。
- 接続状態によって『Connect』または『Disconnect』、『Connect Fail』などのメッセージが表示されます。

7. システムの設定

7.1 設定画面への切替え

設定画面に切り替えるためには、ライブ映像監視モードで右クリックすると表示されるメインメニューのうち、「MENU」キー(→P. 22)を選択して下記のログイン画面でパスワードを入力します。



[図7-1.ログイン画面]

【ログインID】

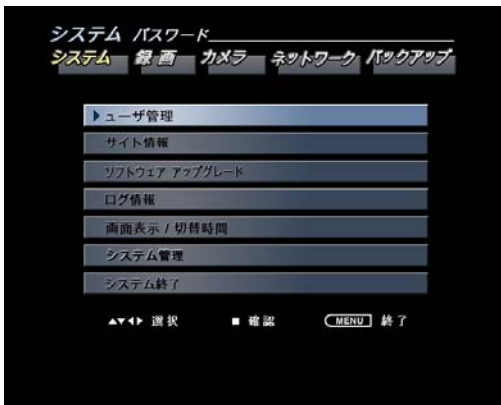
- ・設定欄をクリックして、ユーザーを選択します。
- ・初期値は、[admin]となっています。
- ・他のユーザーに切替えるには、[入力]ボタンをクリックして、ユーザー名を入力します。

【パスワード】

- ・マウスでパスワード4桁の数字(1 ~ 4)を入力した後、確認キーをクリックすると、設定画面に切り替わります。
- ・パスワードを忘れた場合は変更が不可能ですので、ご登録されたパスワードは別途に記録してください。
- ・パスワードの設定及び変更はP41を参考にしてください。
- ・パスワード入力のキャンセル及び監視画面に戻るためには右クリックします。

7.2 初期設定画面

パスワードを入力すると、下記のように初期設定画面が表示され、マウスでメニュー選択をすることができます。



[図7-2. 初期設定画面]

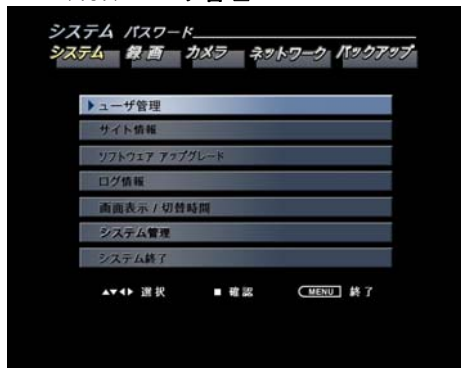
- ・ 設定画面からはシステムの様々な機能の 設定、または変更ができます。
- ・ 初期設定画面で設定可能な項目は、[表7-1] (→[次頁](#))のとおりです。
- ・ 初期設定画面から監視画面に戻るためには、右クリックしてください。

| メインメニュー | サブメニュー | 説 明 |
|---------------------|----------------|-----------------------------------|
| ・システム (→P. 次頁) | ユーザ管理 | パスワード変更、新ユーザ追加、ユーザの権限レベル設定 |
| | サイト情報 | 言語、サイトコード、日付表示スタイル、時間設定の変更 |
| | ソフトウェア アップグレード | ソフトウェアのアップグレード設定 |
| | ログ情報 | 設定/サーチ/ネットワーク/バックアップのログ情報の確認 |
| | 画面表示/切替時間 | 画面表示設定・解除、切替時間設定 |
| | システム管理 | ネットワーク管理、ビデオロス時のビーブ設定、HDDフォーマットなど |
| | システム終了 | システム終了または再起動に関する設定 |
| ・録画 (→P. 62) | 録画 | カメラ毎のデジタル映像調整、録画速度、音声録音などの設定 |
| | モーション感知 | 各カメラ毎のモーション感知エリアとビーブ音設定 |
| | スケジュール | 各カメラ毎の録画方式&スケジュール指定 |
| | 画質/解像度 | 録画映像の画質と解像度設定 |
| ・カメラ (→P. 67) | カメラ使用設定 | カメラの使用・非使用・マスクチャンネル設定 |
| | カメラ名 | カメラ名称入力 |
| | P/T/Zモデル | Pan/Tiltカメラの機種指定 |
| | センサー/制御連動 | センサーと連動するコントロール設定 |
| | センサー/カメラ連動 | センサーと連動するカメラ設定 |
| ・ネットワーク (→P. 72) | ネットワーク | TCP/IPまたはモデムを利用した通信方法の選択 |
| | ID/パスワード | ログイン時のID/パスワード設定 |
| | サイトIPアドレス | ログイン時のIPアドレス設定 |
| | サブネットマスク | ログイン時のサブネットマスク設定 |
| | ゲートウェイ | ログイン時のゲートウェイ設定 |
| | センターアドレス/電話 | センサー発報時、接続するセンターのIPアドレス/電話番号設定 |
| | 転送時間 | センサー発報時、データの転送時間設定 |
| | アラームセンサー | 非常画面転送のためのセンサー設定 |
| ・バックアップ (→P. 75) | バックアップスケジュール | バックアップスケジュール設定 |

[表 7-1. 設定画面のメニュー別の機能説明]

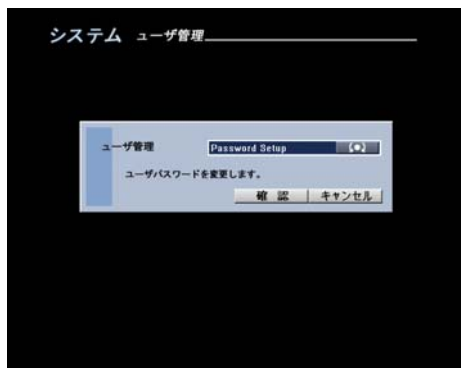
7.3 システム設定

7.3.1 ユーザ管理



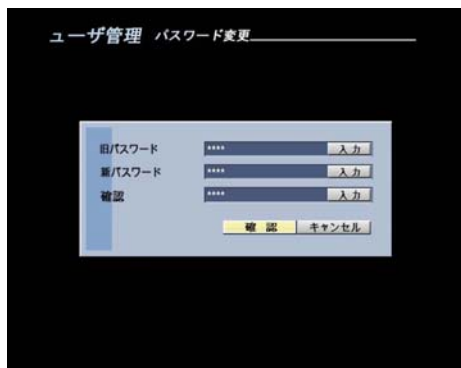
[図 7-3-1 ユーザ管理メニュー]

メインメニューから「システム」を選択、サブメニューから「ユーザ管理」を選択すると、「システム ユーザ管理」設定画面に切り替わります。



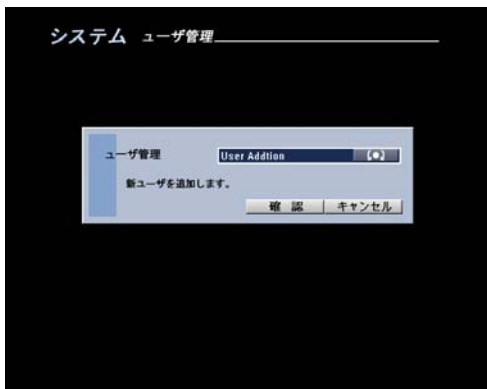
[図 7-3-2 パスワード変更メニュー]

設定箇所をクリックして選択状態にし、マウスのホイールボタンを利用して、「Password Setup」を選択し、「確認」ボタンをクリックすると、パスワード変更画面に切り替わります。

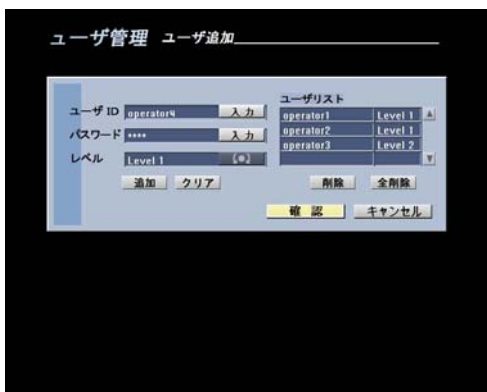


[図 7-3-3 パスワード変更画面]

先に設定されていた「旧パスワード」を入力した後、変更する「新パスワード」と「確認」欄に新しいパスワードを入力し、「確認」ボタンをクリックし、新しいパスワードに変更します。



[図 7-3-4 ユーザ追加メニュー]



[図 7-3-5 ユーザ追加画面]

[新ユーザの追加]

ユーザ管理画面から、設定箇所をクリックして選択状態にし、マウスのホイールボタンを利用して、[User Addition]を選択し、「確認」ボタンをクリックすると、新ユーザ追加画面に切り替ります。

[ユーザID]

「入力」ボタンをクリックしてユーザID入力画面に切り替え、追加ユーザID(最長17桁)を入力します。

[パスワード]

「入力」ボタンをクリックしてパスワード入力画面に切り替え、パスワード(最長17桁)を入力します。

[レベル]

設定箇所をクリックして、追加ユーザの権限レベル [Level 1~3]を設定します。

[追加]

[ユーザID]・[パスワード]・[レベル]の各設定項目の入力が完了すれば、[追加]をクリックして確定します。追加したユーザーは、[ユーザリスト]欄に追加されます。

[クリア]

[クリア]ボタンをクリックすると、[ユーザID]・[パスワード]欄に入力した値が消去されます。

[削除]

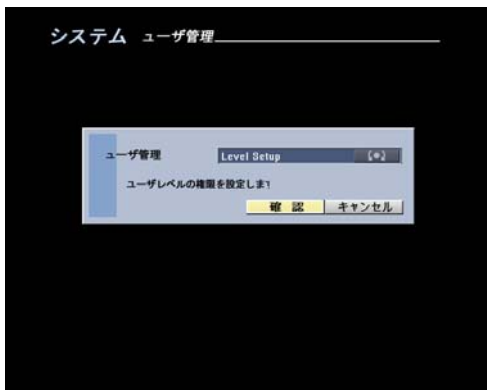
まず、ユーザリスト内の削除したいリストを選択します。クリックすると、文字の表示が白色から緑色に切り替わります。次に、[削除]ボタンをクリックすると、そのリストが削除されます。

[全削除]

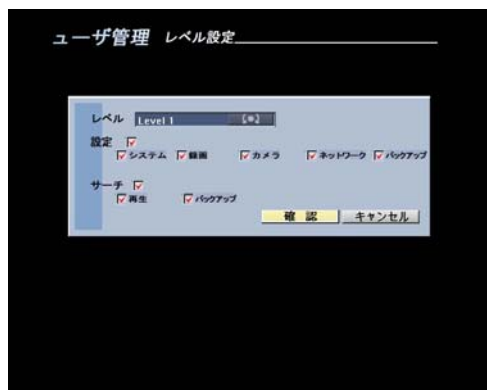
[全削除]ボタンをクリックすると、ユーザリスト欄の全リストを一括削除します。

[確認]

全ての設定が完了したあと、[確認]ボタンをクリックして、設定内容を確定させます。



【図 7-3-6 ユーザレベル設定メニュー】



【図 7-3-7 レベル設定画面】

【ユーザーレベルの設定】

ユーザ管理画面から、設定箇所をクリックして選択状態にし、マウスのホイールボタンを利用して、[Level Setup]を選択し、「確認」ボタンをクリックすると、ユーザーレベル設定画面に切り替ります。

【レベル】

設定箇所をクリックして、設定する権限レベル[Level 1～3]を選択します。

【設定】

チェック欄にチェックを入れた後、下記各項目の中から、設定したい項目にチェックを入れてください。

- ・[システム]
- ・[録画]
- ・[カメラ]
- ・[ネットワーク]
- ・[バックアップ]

【サーチ】

チェック欄にチェックを入れた後、下記各項目の中から、設定したい項目にチェックを入れてください。

- ・[再生]
- ・[バックアップ]

【確認】

全ての設定が完了したあと、「確認」ボタンをクリックして、設定内容を確定させます。

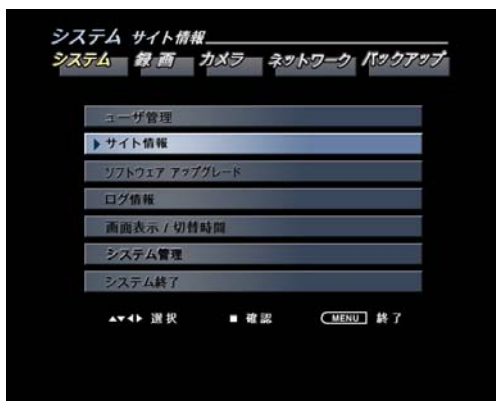
☞ ユーザーレベルでの[システム] 設定内容

•『ユーザー管理』項目は、設定不可となります。但し、そのユーザーレベルでの「パスワード」変更は可能です。

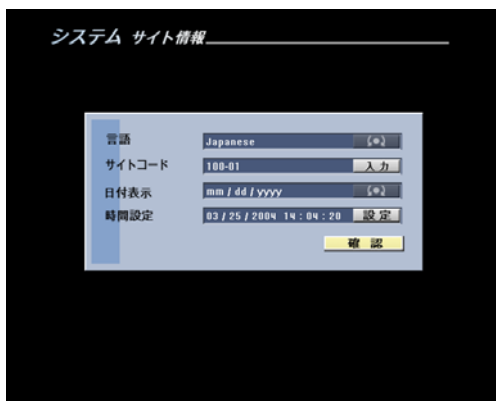
☞ 【注意】

• [設定]、[サーチ]のすぐ後のチェック欄のみにチェックを入れただけでは機能しません。必ず、設定したい各項目と共にチェックを入れてください。

7.3.2 サイト情報



[図 7-3-8. サイト情報メニュー]



[図 7-3-9. サイト情報表示及び変更画面]

メインメニューから[システム]を選択、サブメニューから[サイト情報]を選択すると、「システム サイト情報」画面に切り替わります。

[言語選択]

- 初期設定(『Japanese』)のまま、変更ありません。

[サイトコード]

- 本機のサイトコードを設定します。

[日付表示]

- 年月日を表示する形式を設定します。

[時間設定]

- 本機の年月日・時刻を設定します。

☞ [参考] サイトコードについて

- 『サイトコード』とは、本機の管理上の番号です。初期値は『000001』に設定されています。

☞ [注意]

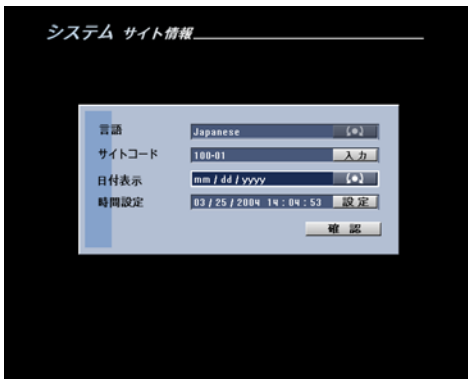
センターソフトから本機への接続は、サイトコードとパスワード設定(⇒P. 44)が必要です。もし、サイトコードやパスワードのどちらかが間違って入力された場合、接続できませんので御注意ください。

[サイトコード]

- 『ZR-DA Center 500』ソフトを利用して遠隔接続する場合、本機を同じネットワーク上に接続された他の機器とを区別するためのものです。
- 「000000」～「999999」まで最大6桁の数字が入力できます。
- 「-」(ハイフン)、「.」(ドット)も含めて、6文字の入力が可能です。
- [Del]ボタンを押すと、1字が消去され、パスワードの修正ができます。
- サイトコードを入力した後、[確認]ボタンをクリックすると、入力されたサイトコードが確定されます。



[図 7-3-10. サイトコード入力画面]



[図 7-3-11. 日付表示変更画面]

[日付表示]

- 年月日の表示スタイルを設定することができます。
- 設定できる日付表示スタイルは、下記の6通りです。

<設定例>

- 「yyyy/mm/dd」: 「年/月/日」
- 「yyyy・mm・dd」: 「年・月・日」
- 「yyyy.mm.dd」: 「年.月.日」
- 「dd/mm/yyyy」: 「日/月/年」
- 「dd・mm・yyyy」: 「日・月・年」
- 「dd.mm.yyyy」: 「日.月.年」

[時間設定]

[現時間]

- 各設定欄をクリックし、マウスのホイールボタンを利用して、「年」、「月」、「日」、「時」、「分」、「秒」の各項目をそれぞれ設定します。

「時間帯」

- 初期設定(『[GMS+09:00] Osaka, Sapporo.』)のまま、変更ありません。

[サマータイム]

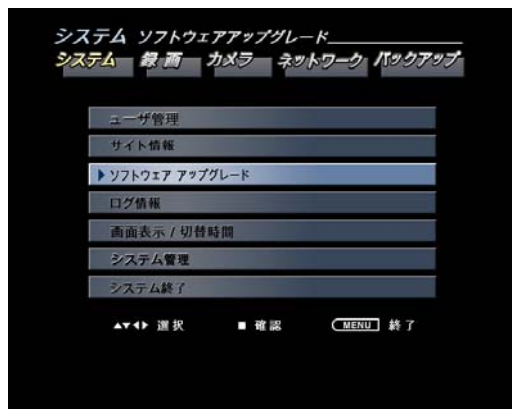
- 初期設定(『オフ』)のまま、変更ありません。

[現時間]設定が終了すれば、最後に[確認]ボタンをクリックして、設定内容を確定させます。



[図 7-3-12. システム時間設定画面]

7.3.3 ソフトウェア アップグレード



【図 7-3-13. ソフトウェア アップグレード・メニュー】



【図 7-3-14. ソフトウェア アップグレード画面】

【ソフトウェア アップグレード】メニューは、本機の機能向上または性能を改善させるためにソフトウェアをアップグレードすることができる機能です。

メインメニューから[システム]を選択、サブメニューから[ソフトウェア アップグレード]を選択すると、「システム ソフトウェアアップグレード」画面に切り替わります。

【パッケージ選択】

【アップグレードバージョン】

- アップグレード・プログラムが保存されているUSBフラッシュメモリーなどをUSB端子に接続した後、[選択]ボタンをクリックすると、そのプログラムバージョンが[アップグレードバージョン]欄に表示されます。

【現バージョン】

- 本機の現在のプログラム・バージョンを表示します。(2006年3月現在のバージョンは、『V1.005 P5』です)

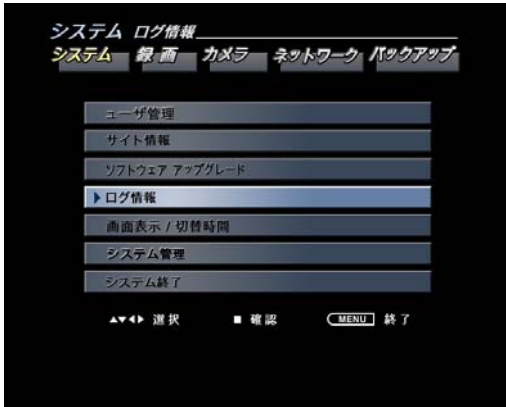
【開始】

- アップグレードするバージョンと現バージョンを確認した後、[開始]ボタンをクリックすると、アップグレードが実行されます。

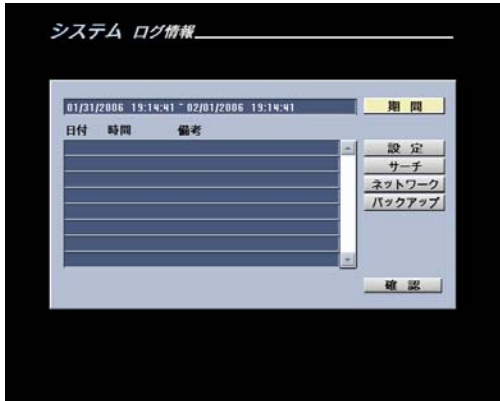
【注意】

• 本作業の実行中は、アップグレードが完了するまで本機の電源を切ったり、USBフラッシュメモリーなどを抜いたりしないでください。システムが誤作動する恐れがあります。

7.3.4 ログ情報



【図 7-3-15. ログ情報メニュー】



【図 7-3-16. ログ情報表示画面】

[ログ情報] メニューでは、本機に記録されている設定変更情報、サーチ記録、ネットワーク接続情報及びバックアップ情報などを確認することができます。

メインメニューから[システム]を選択、サブメニューから[ログ情報]を選択すると、「システム ログ情報」画面に切り替わります。

【期間】

- 項目毎にログ情報を表示する期間を設定します。(→次頁)

【設定】

- 本機の設定変更のログ情報を表示します。

【サーチ】

- 録画画像の検索開始時間と終了時間に対するログ情報を表示します。

【ネットワーク】

- 『ZR-DA Center 500』ソフトを利用して、本機への接続ログ情報を表示します。

【バックアップ】

- リモートまたはローカル・バックアップに対するログ情報を表示します。

【確認】

- [確認]ボタンをクリックすると、初期設定画面に移動します。

システム ログ情報

開始時間 01 / 31 / 2006 19 : 15 : 17

| 年 | 月 | 日 | 時 | 分 | 秒 |
|------|---|----|----|----|----|
| 2006 | 1 | 31 | 19 | 15 | 17 |

終了時間 02 / 01 / 2006 19 : 15 : 17

| 年 | 月 | 日 | 時 | 分 | 秒 |
|------|---|---|----|----|----|
| 2006 | 2 | 1 | 19 | 15 | 17 |

確認

[図 7-3-17. ログ情報 時間選択画面]

【開始時間】と【終了時間】

- 各設定欄をクリックし、マウスのホイールボタンを利用して、「年」、「月」、「日」、「時」、「分」、「秒」の各項目をそれぞれ設定します。

【確認】

- 【開始時間】と【終了時間】を設定した後、【確認】ボタンをクリックすると、該当期間のログ情報を確認することができます。

システム ログ情報

01/31/2006 19:15:17 ~ 02/01/2006 19:15:17

| 日付 | 時間 | 備考 |
|-------|----------|-------------|
| 02/01 | 15:52:21 | SETUP START |
| 02/01 | 16:10:59 | SETUP START |
| 02/01 | 16:35:39 | SETUP START |
| 02/01 | 16:36:00 | SETUP END |
| 02/01 | 18:59:59 | SETUP START |

期間

設定
サーチ
ネットワーク
バックアップ

確認

[図 7-3-18. 設定ログ情報画面]

【設定】

- 本機の設定を変更した場合、設定画面に切り替えた時間と、設定画面を終了した時間のログ情報を表示します。
- 【設定】ボタンをクリックすると、「日付」、「時間」、及び「備考」欄に設定ログが表示されます。
- 「備考欄」表示内容
「SETUP START」 設定画面に切り替えた時間
「SETUP END」 設定画面を終了した時間

システム ログ情報

01/31/2006 19:15:17 ~ 02/01/2006 19:15:17

| 日付 | 時間 | 備考 |
|-------|----------|------------|
| 02/01 | 16:36:03 | SEARCH IN |
| 02/01 | 16:38:50 | SEARCH OUT |
| 02/01 | 16:39:10 | SEARCH IN |
| 02/01 | 18:59:22 | SEARCH OUT |

期間

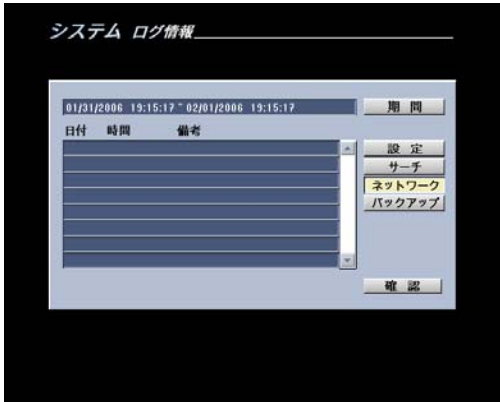
設定
サーチ
ネットワーク
バックアップ

確認

[図 7-3-19. サーチログ情報画面]

【サーチ】

- 録画画像の検索開始時間と終了時間のログ情報を表示します。
- 【サーチ】ボタンをクリックすると、「日付」、「時間」、及び「備考」欄にサーチログが表示されます。
- 「備考欄」表示内容
「SEARCH IN」 検索画面に切り替えた時間
「SEARCH OUT」 検索画面を終了した時間



[図 7-3-20. ネットワークログ情報画面]

【ネットワーク】

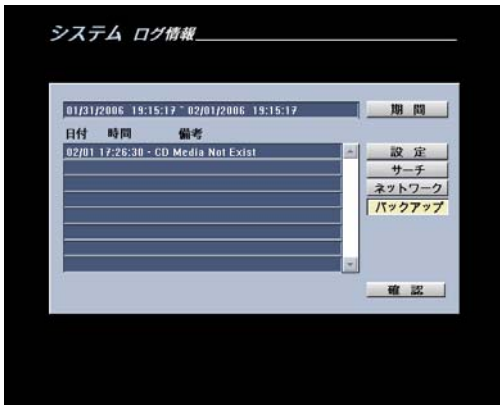
・『ZR-DA Center 500』ソフトを利用して本機にネットワーク接続する時、接続開始及び終了時間と接続元のIPアドレスのログ情報を表示します。

・[ネットワーク]ボタンをクリックすると、「日付」、「時間」、及び「備考」欄にネットワークログが表示されます。

・「備考欄」表示内容
「NETWORK REMOTE CONNECTED」
 ネットワーク接続した時間

「NETWORK REMOTE DISCONNECTED」
 ネットワーク接続を終了した時間

「*.***.***.***」**
 ネットワーク接続元(センター側)のIPアドレス



[図 7-3-21. バックアップ情報画面]

【バックアップ】

・リモートまたはローカルドライブにバックアップする時、バックアップ実行に関する時間と方法のログ情報を表示します。

・[バックアップ]ボタンをクリックすると、「日付」、「時間」、及び「備考」欄にバックアップログが表示されます。

・「備考欄」表示内容例
「BACKUP JPEG-OK」
 静止画(JPEG形式)でバックアップした時

「CD-ROM DATA WRITE FAIL」
 CD-R・RWへのバックアップが失敗した時

「CD Media Not Exist」
 CD-R・RWメディアがドライブに挿入されていないかた時

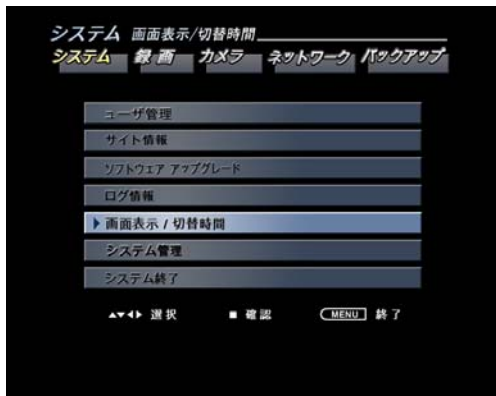


[図 7-3-21. ログ情報画面の終了]

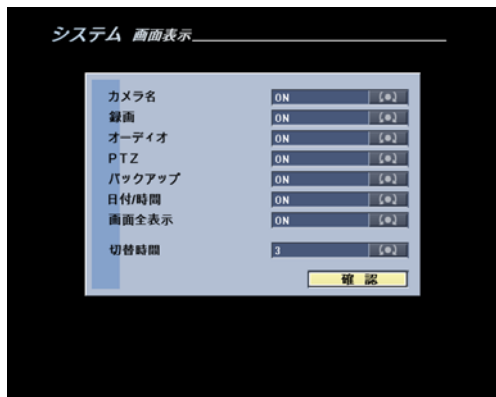
【確認】

・[確認]ボタンをクリックすると、ログ情報画面を終了し、初期設定画面に移動します。

7.3.5 画面表示/切替時間



[図 7-3-23. 画面表示/切替時間メニュー]



[図 7-3-24. 画面表示/切替時間画面]

[画面表示/切替時間] メニューは、モニター画面の表示を設定または解除したり、切替時間を設定することができます。

メインメニューから[システム]を選択、サブメニューから[画面表示/切替時間]を選択すると、「システム画面表示/切替時間」画面に切り替わります。

- [カメラ名]、[録画]、[オーディオ]、[PTZ]、[バックアップ]、[日付/時間]表示状態を「ON」/「OFF」値に設定を変更して、監視画面での表示/非表示を設定することができます。

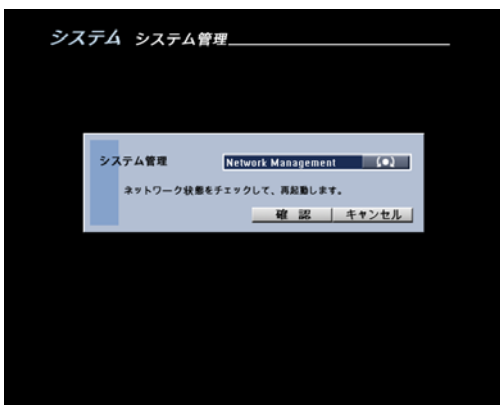
- [画面全表示]を選択して、全項目に対して一括的に設定を変更することができます。

- [切替時間]項目を利用して、ライブ映像監視モードでの1画面自動切替時間(1~60秒)を設定することができます。(→P. 21)

7.3.6 システム管理



【図 7-3-25. システム管理メニュー】



【図7-3-26. システム管理画面】

メインメニューから[システム]を選択、サブメニューから[システム管理]を選択すると、「システム システム管理」画面に切り替わります。

・システム管理設定画面で、設定箇所をクリックし、マウスのホイールボタンを利用して、下記各設定項目を選択した後、[確認]ボタンをクリックしますと、次項のように各設定画面が表示されます。

「Network Management」:

ネットワーク状態の確認 ⇒ 本機能は、非対応です。

「DDNS Authentication」:

DDNS認証コードの入力 ⇒ 本機能は、非対応です。

「Options」:

ビデオロス時のピーブ音設定

「Video-In Type」:

映像入力方式設定

「HDD Format」:

HDDフォーマットや情報確認

「NTP Setup」:

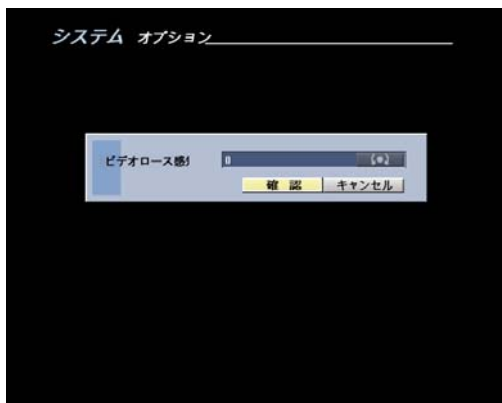
ネットワークのタイムサーバーから時刻動機設定
⇒ 本機能は、非対応です。

「Profile」:

設定情報のアップ、ダウン、リセット

「System ID」:

リモコンで複数の本機を制御する時のID設定



[図 7-3-27. オプション設定画面]

[Options]: オプション設定

- ビデオロス時の、ピープ音設定が可能です。
- 設定音無し: 『OFF』
設定音秒数: 『1～5』から選択

☞ [参考] ピープ音の解除方法

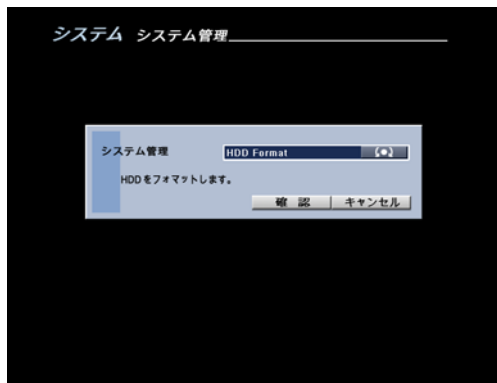
- 本体前面部のボタンの何れかを押し、ピープ音が止まります。



[図 7-3-28. 映像入力方式画面]

[Video-In Type]: 映像入力方式設定

- 初期設定(『NTSC』)のまま、変更ありません。



[図 7-3-29. HDD フォーマット・メニュー]

[HDD Format]: システムHDDフォーマット設定

本機の内蔵HDDをフォーマット(初期化)させる機能です。

- 設定箇所をクリックし、マウスのホイールボタンを利用して『HDD Format』を選択した後、[確認]ボタンをクリックします。
- [確認]ボタンをクリックすると、[図 7-28]のような画面に切り替わり、本機の内蔵HDDリストが表示されます。



[図 7-3-30. HDDリストの画面]

- HDDリストでフォーマットするHDDが選択できます。
- 本機の内蔵HDD情報が表示されます。HDDを最大4つまで内蔵することができます。

• [OK]ボタン

フォーマットするHDDをリストから選択します。HDDリストをクリックすると、文字の表示が白色から緑色に切り替わります。次に、[OK]ボタンをクリックすると、[図 7-29]のような確認画面が現れます。

• [Cancel] ボタン

[Cancel] ボタンをクリックすると、以前の「システム管理」画面に戻ります。



[図 7-3-31. HDDの初期化画面]

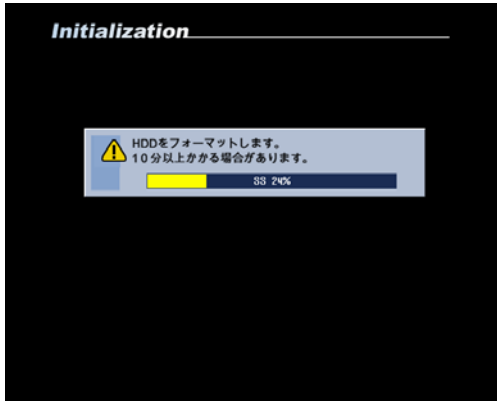
- HDDリストで選択したHDDのフォーマットを行うか、あるいは取り消すが選べます。

• [確認]ボタン

[確認]ボタンをクリックすると、HDDに保存されている全ての録画データがフォーマットされます。

• [キャンセル]ボタン

[キャンセル]ボタンをクリックすると、HDDをフォーマットしないまま、以前の「システムHDDフォーマット」画面に戻ります。

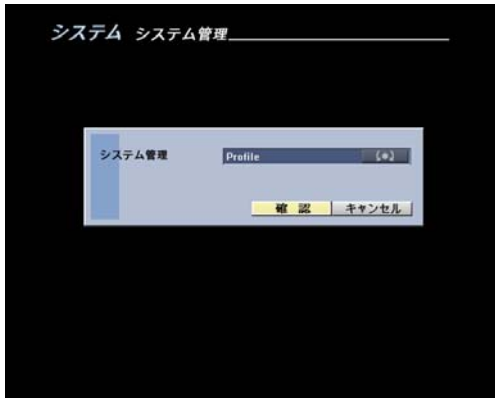


[図 7-3-32. HDDフォーマットの進行画面]

- HDDフォーマットの進行中画面です。
- HDDフォーマットが完了すると、本機が再起動されます。

☞ **[注意]**

- HDDの初期化の後、全ての録画データが無くなりますので、重要なデータは必ずバックアップしてください。
- 設定内容はHDDをフォーマットをしても、以前の通り保存されています。



[図 7-3-33. 設定情報メニュー]

[Profile]

- 設定情報のアップロード、ダウンロード、リセットができません。
- [確認]ボタンをクリックしますと、「設定情報管理」画面に移行します。



[図 7-3-33. 設定情報リセット画面]

[リセット]

- 本機能は非対応です。



[図 7-3-35. 設定情報のダウンロード進行画面]

【設定情報ダウン】

- 本機の設定情報をUSB接続機器にダウンロードします。
- [確認]ボタンをクリックすると、進行状態が黄色のバー表示されます。



[図 7-3-36. 設定情報アップロード画面]

【設定情報アップ】

- 他の同型機種で設定された情報を本機にアップロードします。
- [確認]ボタンをクリックすると、進行状態が黄色のバーで表示されます。



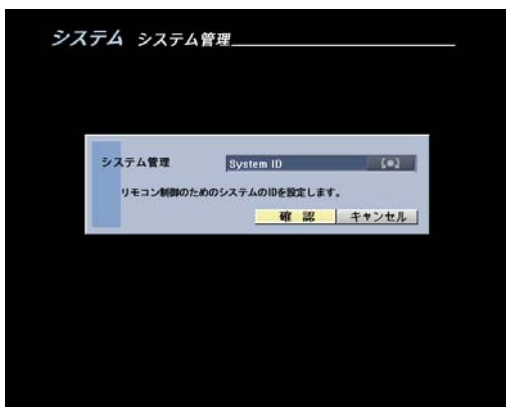
[図 7-3-37. 再起動確認画面]

【再起動確認】

- 設定情報のアップロードが終了すると、再起動の確認画面が表示されます。
- [はい]をクリックすると、本機が再起動します。

☞ 【注意】

- 設定情報をアップロードする場合は、HDDが初期化され、全ての録画データが無くなりますので、重要なデータは必ずバックアップしてください。



[図 7-3-38. システムIDメニュー]

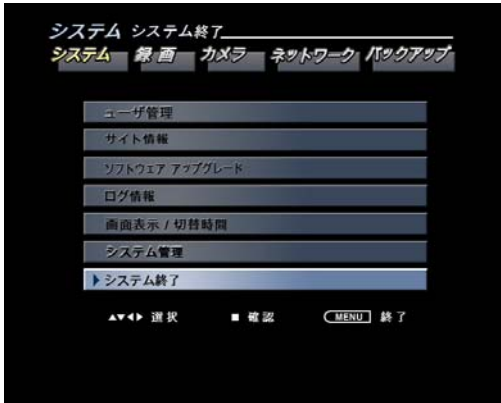
[System ID]

- 付属のリモコンで、複数台数の本機を制御する時に各機器のIDを設定します。
- 1台のリモコンで、9999台までの本機の制御が可能です。



[図 7-3-39. システムID設定画面]

7.3.7 システム終了



[図 7-3-40. システム終了メニュー]



[図 7-3-41. システム終画面]

[システム終了]メニューは、本機のシステムを終了する機能です。

メインメニューから[システム]を選択、サブメニューから[システム終了]を選択すると、「システム システム終了」画面に切り替わります。

- ・ [作業選択]の設定箇所をクリックし、マウスのホイールボタンを利用して下記の各項目を選択することができます。
- ・ 実行及び設定しようとする項目を選択した後、[確認]ボタンをクリックします。

[Shut Down]

- ・ 本機を終了します。

[Restart]

- ・ 本機を終了した後、再起動させます。

[Add schedule]

- ・ 本機の再起動時間を指定することができます。

☞ [参考]

- ・ 本機が終了された状態で、前面部の実行キーを3秒長押しするとシステムの電源が入り、システムが再起動します。

システム再起動時間

| 年 | 月 | 日 | 時 | 分 | 秒 |
|------|----|----|----|---|----|
| 2002 | 12 | 22 | 13 | 6 | 53 |

システム再起動週期 [▼]

【システム再起動の予約】

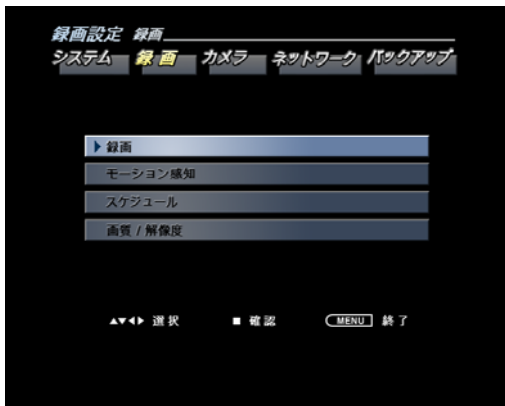
- 本機の再起動日時を設定します。
- 「システム再起動周期」の設定箇所をクリックし、マウスのホイールボタンを利用して、下記の各項目から選択することができます。

- [One time only]:** 設定した日時のみ再起動
[Daily]: 設定した時刻に毎日再起動
[Every 2 days]: 設定した時刻に2日毎に再起動
[Every 3 days]: 設定した時刻に3日毎に再起動
[Weekly]: 設定した時刻に毎週再起動
[Every 2 weeks]: 設定した時刻に2週間毎に再起動
[Every 3 weeks]: 設定した時刻に3週間毎に再起動
[Monthly]: 設定した日時に毎月再起動

[図 7-3-42. システム終了予約]

7.4 録画設定

7.4.1 カメラ毎の録画設定



【図 7-4-1. 録画設定メニュー】



【図 7-4-2. カメラ毎の録画設定画面】

メインメニューから[録画]を選択、サブメニューから[録画]を選択すると、各カメラ毎のカラー及びブライツ、コントラスト、フレーム数と、選択したカメラに音声録音の設定ができます。

【カラー / ブライツ / コントラスト】

- 選択したカメラ映像のカラー、ブライツ、またはコントラストを設定することができます。
- マウスのホイールボタンを利用して、各設定項目で、0~255の値を設定できます。

【基本値】

- [基本値]を選択すると、変更されたカラー、ブライツ、またはコントラスト値を、基本設定[128]に初期化することができます。

【フレーム】

- 各カメラ毎に1~30フレームの録画コマ数を設定することができます。設定箇所をクリックして、マウスのホイールボタンを利用してフレーム数変更ができます。

704x240時: 総60フレーム

352x240時: 総117フレーム (ZR-DA509J)

総112フレーム (ZR-DA516J)

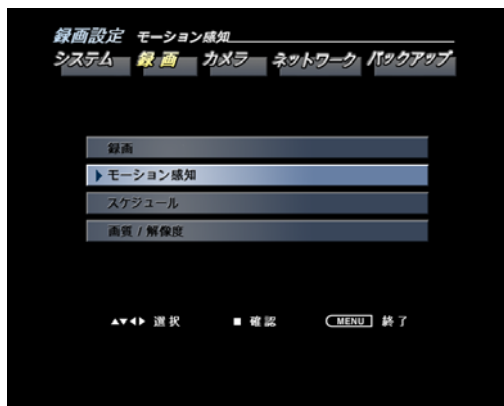
【オーディオ設定】

- 選択したカメラ映像の録画と同時に音声も録音することができます。(→P. 20)
- 1チャンネルの音声入力ができます。
- 選択したカメラのオーディオ機能を[ON]に設定する場合、他のチャンネルのオーディオ機能は自動的に[OFF]状態に設定されます。

【カメラ】

- 設定箇所をクリックし、マウスのホイールボタンを利用して、カメラ番号を選択することができます。

7.4.2 モーション感知



【図 7-4-3. モーション感知メニュー】



【図 7-4-4. モーション・エリアの設定画面】

メインメニューから[録画]を選択、サブメニューから[モーション感知]を選択すると、各カメラのモーション感知エリア及び感度と、モーション感知時にピープ音発生時のON/OFFを設定することができます。

【カメラ】

・ 設定箇所をクリックして、マウスのホイールボタンを利用してカメラ番号を選択すると、各カメラ映像のモーション感知エリア及び感度と、ピープ音発生有無などの各項目を設定することができます。

【モーション感知エリアの設定】

- ・ 選択したカメラ映像画面に表示されたモーション感知エリア・ブロックを、クリックにより感知ON/OFF設定した後、[確認]ボタンをクリックすると、感知エリアを確定することができます。
- ・ 画面に表示される縦6×横8の合計48ブロック毎に感知エリア設定ができます。淡い緑色の網掛け状態が感知ON状態です。

【感度】

- ・ 各カメラ毎に、下記の5段階から選択して、モーション感知エリアの感度を設定することができます。

[BEST]: 最高感度
 [HIGH]: 高感度
 [NORMAL]: 普通
 [LOW]: 低感度
 [LOWEST]: 最低感度

【フルモーション】

- ・ 選択したカメラのモーション領域エリアを、画像全体(48ブロック)に一括設定します。
- ・ [フルモーション]の[設定]または[取消]ボタンをクリックして、設定したり、解除することができます。

【ピープ】

- ・ 各カメラ毎に設定されたモーション感知エリアで動作感知した場合、ピープ音が発生するように設定することができます。
- ・ ピープ音を発生させるためには、録画スケジュール設定で、該当カメラの録画方法を[モーション]に設定してください。(→P. 65)

【確認】

- ・ [確認]ボタンをクリックすると、設定された各項目が確定されます。

7.4.3 モーションリンク設定



[図 7-4-5. モーションリンク設定メニュー]



[図7-4-6. モーションリンク設定画面]

[モーションリンク設定]

- 各カメラ毎にモーションリンク録画を設定できます。
- モーション録画状態のカメラが動作感知した場合、リンク設定したカメラでも事前設定した録画方法に関係なく、直ちに録画がされます。
- モーションリンクの設定機能を使用するとき、該当カメラの録画設定を[モーション録画]に設定してください。

[モーションカメラ]

- モーション感知設定元カメラです。
- 設定箇所をクリックして、マウスのホイールボタンを利用してチャンネルを選択できます。

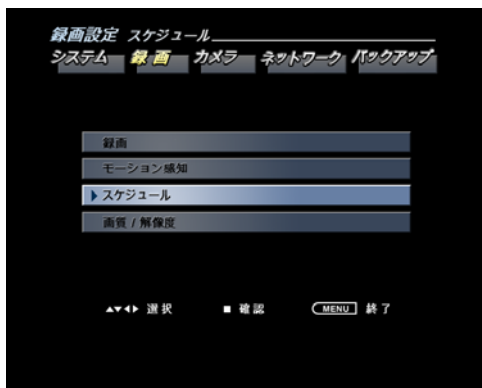
[リンクカメラ]

- [モーションカメラ]にリンク設定させるカメラ番号を選択します。複数台数設定可能です。

[確認]

- [確認]ボタンをクリックすると、設定された各項目が確定されます。

7.4.4 スケジュール



【図 7-4-7. スケジュール設定メニュー】



【図 7-4-8. スケジュール設定画面】

メインメニューから[録画]を選択し、サブメニューから[スケジュール]を選択すると、各カメラの時間帯毎の録画方法を設定することができます。

設定した内容は、タイムラインの色表示に反映されます。

【カメラ】

- 設定箇所をクリックして、マウスのホイールボタンを使用してカメラ番号を選択すると、各カメラの録画スケジュールを設定することができます。

【時間】

- 1時間毎に設定可能です。設定箇所をクリックして、設定したい時間帯を選択します。

【録画オプション】

- 録画方法を設定することができます。
- 設定可能な録画方法は、下記表のように8種類の手法から選択できます。
- プリアラーム録画の場合は、3秒前の画像から録画されます。

【00:00～24:00】

- 24h全て同じ録画方法で設定したい場合、設定箇所をクリックして、設定したい録画方法を選択します。

【全部、適応する】

- そのカメラで設定した録画スケジュールを、全てのカメラに反映させたい時、クリックします。

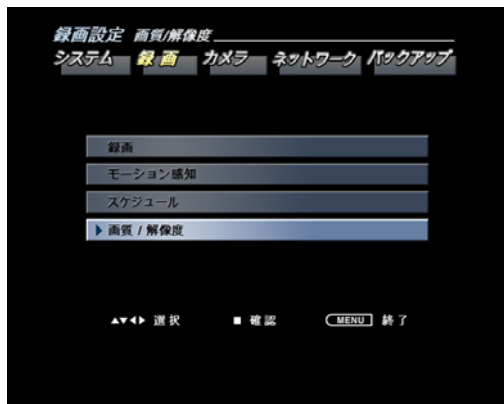
【OK】

- 【OK】ボタンをクリックすると、設定された各項目が確定されます。

| 録画方法 | 録画モード | 設定画面の表示 | 画面表示状態 |
|---|--------------------------|-----------|---------------|
| ・C: 連続録画 ・M: モーション録画 ・S: センサー録画 ・P: プリアラーム録画 | ・無録画 | NONE | 表示なし |
| | ・連続録画 | C | 赤の REC |
| | ・モーション録画 | M | オレンジ色の REC |
| | ・センサー録画 | S | |
| | ・モーション & センサー録画 | M : S | |
| | ・モーション & プリアラーム録画 | M : P | |
| | ・センサー & プリアラーム録画 | S : P | |
| | ・モーション & センサー & プリアラーム録画 | M : S : P | |

【表 7-2. 録画種類別の設定可能な録画モード及び表示】

7.4.5 画質/解像度



[図 7-4-9. 画質/解像度メニュー]



[図 7-4-10. 画質/解像度設定画面]

メインメニューから[録画]を選択、サブメニューから[画質/解像度]を選択すると、画質と解像度を設定することができます。

【カメラ】

- 選択箇所をクリックして、マウスのホイールボタンを使用して、設定したカメラ番号を選択します。

【画質】

- 録画映像の画質を、下記の5段階から選択できます。各カメラ毎に、画質の個別設定ができます。

[BEST]
[HIGH]
[NORMAL]
[LOW]
[LOWEST]

【解像度】

- 録画映像の解像度(フォーマットサイズ)を、下記の2種類から選択することができます。解像度の設定内容は、全カメラに適用されます。(各カメラ毎の個別設定不可)

704 X 240
352 X 240

【全部、適応する。】

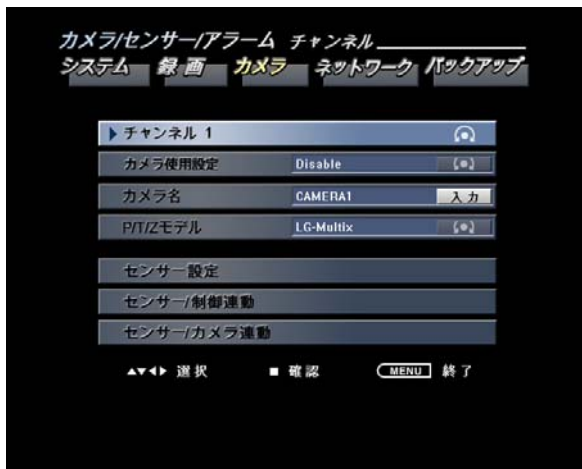
- そのカメラで設定した画質を、全てのカメラに反映させたい時、クリックします。

【確認】

- [確認]ボタンをクリックすると、設定された各項目が確定されます。

7.5 カメラ設定

[カメラ]設定メニューでは、カメラの各チャンネル毎のPan/Tilt、センサー及びコントロール連動設定ができます。



[図 7-5-1. カメラ設定画面]

[チャンネル選択]

- マウスのホイールボタンを利用してチャンネルを選択します。

[カメラ使用設定]

- 設定箇所をクリックして、下記の項目から設定します。
[Enable]: そのカメラを使用可能状態にします
[Secure]: そのカメラをマスクチャンネルに設定します
[Disable]: そのカメラを使用不可状態にします

[カメラ名]

- 選択したカメラに名称を、8桁まで設定できます。
(→P.20)

[P/T/Z モデル]

- 選択されたカメラにP/T/Zを設定することができます。
- マウスのホイールボタンを利用して、設置されたPTZカメラのモデル名を選択します。
- 固定カメラの場合、[NOT PTZ]を選択します。

[センサー設定]

- 本機背面のセンサー入力端子に接続されたセンサーを、選択したカメラ番号と連動できます。
- 設定されたセンサーで発報時、本機からピープ音を出力させることができます。

[センサー/制御連動]

- 選択したカメラ番号に対してセンサー発報時、連動させるコントロール出力を設定できます。
- 監視画面の状態で前面部の■(実行)キーを押すと、手動で外部コントロール機器を動作させることができます。
- コントロール連動する場合、本機背面のCONTROL端子で接点信号が出力されます。

[センサー/カメラ連動]

- 選択されたセンサーで各カメラを連動することができます。

7.5.1 カメラ名



[図 7-5-2. カメラ名のメニュー]



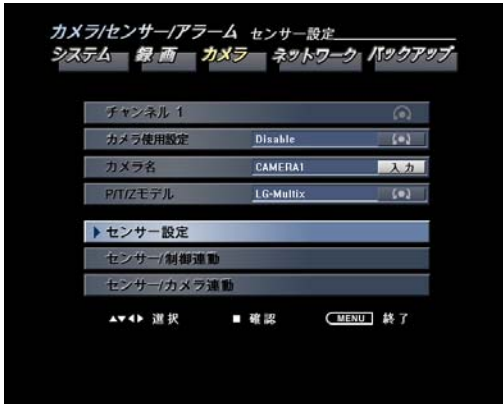
[図 7-5-3. カメラ名の変更画面]

[カメラ]メニューで[カメラ名]メニューをクリックすると、カメラ名の変更画面に切り替わります。

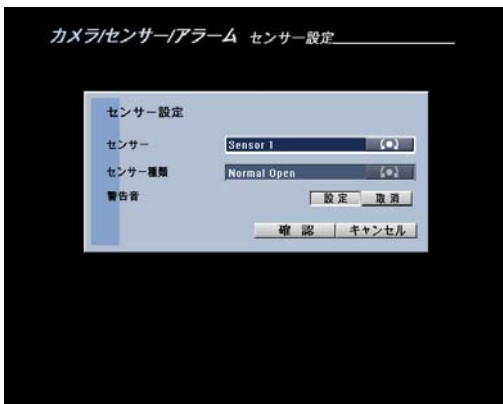
【カメラ名】

- マウスを利用して、キーボード画面からカメラ名の入力ができます。
- カメラ名は、数字と文字を合わせて8桁まで入力可能です。
- 1文字修正したい時は、[←]をクリックします。
- 各文字キーの左上の文字(大文字など)を入力したい時は、[Shift]をクリックしてからShiftをOn状態にして、入力したい文字を選択します。
- カメラ名を入力して[OK]ボタンをクリックすると、入力されたカメラ名が確定されます。

7.5.2 センサー設定



【図 7-5-4. センサー設定メニュー】



【図 7-5-5. センサー設定の変更画面】

[カメラ]メニューで[センサー設定]メニューを選択すると、センサーの種類とセンサーで発報時のビープ音出力の有無を設定することができます。

【センサー】

・設定箇所をクリックし、マウスのホイールボタンを利用して、センサー1～4までを選択できます。

【センサー種類】

・設定箇所をクリックし、マウスのホイールボタンを利用して、センサーの種類を選択することができます。

[Normal Open]:

[Normal Close]:

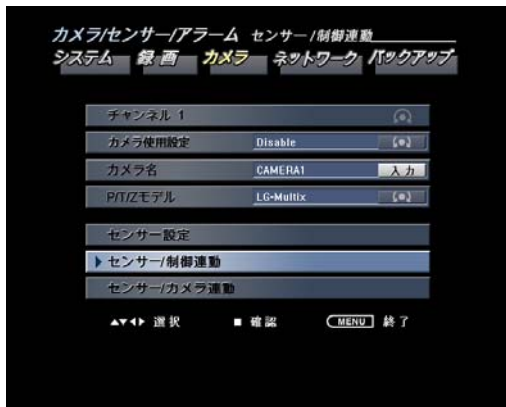
【警告音】

・選択したセンサーで発報した場合、警告(ビープ)音の出力有無を設定できます。

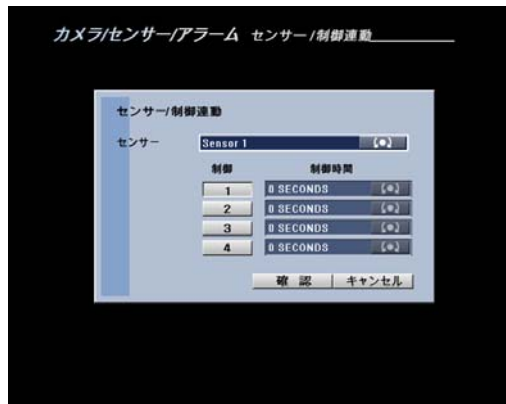
【確認】

・[確認]ボタンをクリックすると、設定された各項目が確定されます。

7.5.3 センサー/制御連動



[図 7-5-6. センサー/制御連動メニュー]



[図 7-5-7. センサー/制御連動 設定画面]

メインメニューから[カメラ]を選択、サブメニューから[センサー/制御連動]を選択すると、センサーで外部機器コントロール連動とコントロール時間を設定することができます。

【センサー】

- 設定箇所をクリックし、マウスのホイールボタンを利用して、センサー1~4まで選択できます。

【制御】

- センサー発報時、コントロール出力機能を連動することができます。

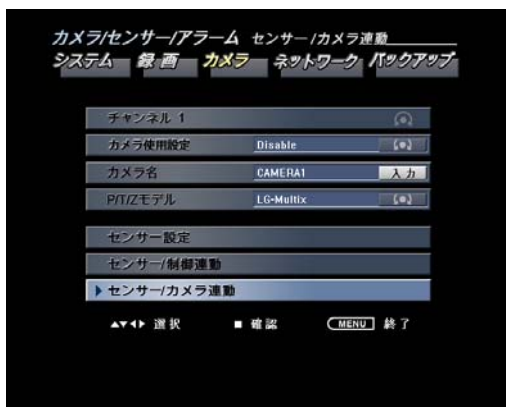
【制御時間】

- センサー発報の連動により、出力されるコントロール信号の動作維持時間を10秒単位で設定できます。(最大300秒まで設定可。初期出荷時は0秒に設定。)
- 設定箇所をクリックし、マウスのホイールボタンを利用して、コントロール時間を設定することができます。

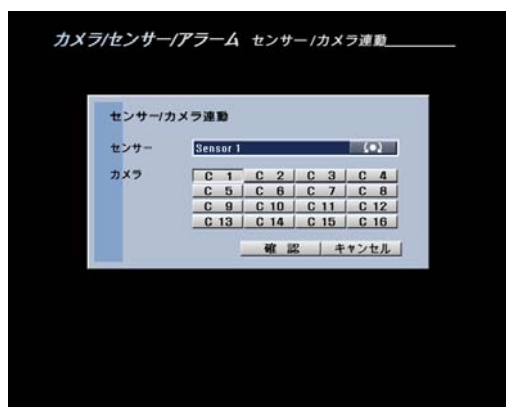
【確認】

- [確認]ボタンをクリックすると、設定された各項目が確定されます。

7.5.4 センサー/カメラ連動



[図 7-5-8. センサー/カメラ連動メニュー]



[図 7-5-9. センサー/カメラ連動 設定画面]

メインメニューから[カメラ]を選択、サブメニューから[センサー/カメラ連動]を選択すると、選択されたセンサーに各カメラ連動を設定できます。

[センサー]

- ・設定箇所をクリックし、マウスのホイールボタンを利用して、カメラと連動させるセンサー番号を1～4まで選択できます。
- ・センサー番号と連動して、カメラ番号が自動的に選択状態になります。

[カメラ]

- ・[センサー]欄で選択したセンサー番号に連動させるカメラ番号を設定できます。(最大16台カメラまで)
- ・該当センサー発報時、設定したカメラ番号の映像を録画できます。

[確認]

- ・[確認]ボタンをクリックすると、設定された各項目が確定されます。

[注意]

- ・選択したセンサー連動のカメラ番号は、録画スケジュール設定(→P. 65)で、下記の何れかの設定をしてください。

[センサー録画(S)]
 [センサー&プリアラーム録画(S:P)]
 [モーション&センサー録画(M:S)]
 [モーション&センサー&プリアラーム録画(M:S:P)]

7.6 ネットワーク設定

[ネットワーク]設定メニューでは、「ZR-DA Center500」ソフトと通信用のIPアドレスまたは電話番号と、伝送時間及びアラームセンサーを設定することができます。



[図 7-6-1. ネットワーク設定画面]

[ネットワーク]

• マウスのホイールボタンを利用して、ネットワーク方式を選択することができます。

[NOT USE]: ネットワーク非設定

[EMERGENCY (STATIC-IP)]: LAN (固定IP)接続

[EMERGENCY (TEL)]: 使用不可

[EMERGENCY (DHCP)]: 使用不可

[EMERGENCY (ADSL)]: 使用不可

[ID/パスワード]

• 使用不可

[サイトIPアドレス]

• 「ZR-DA Center 500」ソフトでLAN経由で本機に接続時、本機のIPアドレスを設定できます。

[サブネットマスク]

• 「ZR-DA Center 500」ソフトでLAN経由で本機に接続時、本機のサブネットマスクを設定できます。

[ゲートウェイ]

• 「ZR-DA Center 500」ソフトでLAN経由で本機に接続時、本機のゲートウェイアドレスを設定できます。

[センター アドレス/電話]

• センサー発報時、該当映像を伝送する場合、センター側PC端末のIPアドレスを設定できます。

• 電話番号設定: 使用不可

[転送時間]

• センサー発報時、LAN経由でセンター側に映像を転送する場合、転送時間を30秒単位(最大150秒まで)で設定できます。

[アラームセンサー]

• センサー発報時、指定された転送時間だけ画像転送されます。

• センサー番号を選択すると、指定されたセンサー信号に連動した映像が画像転送されます。



[注意]

• インターネット経由で本機と「ZR-DA Center 500」ソフトで通信する場合、サイト・センター両側にグローバルIPを取得してください。

• インターネットの回線がADSL回線の場合でも、[ネットワーク]項目の設定は、[EMERGENCY (STATIC-IP)]を選択してください。

ネットワーク ID/パスワード

ネットワーク ID/パスワード

ID: USER

パスワード: ****

1 2 3 4 5 6 7 8 9 0

0 W E R T Y U I O P

A S D F G H J K L ←

Shift Z X C V B N M - /

OK

[図 7-6-2. ID/パスワード入力画面]

【ID/パスワード】

- ネットワーク欄で「EMERGENCY (ADSL)」を選択した時に、設定可能です。
- 現状では、本機能は使用不可となっております。

ネットワーク サイトIP

ネットワーク サイトIP

IPアドレス: 176.121.176.203

1 2 3

4 5 6

7 8 9

0 - Del

確認

[図 7-6-2. IPアドレス入力画面]

【サイト IPアドレス】

- サイトIPアドレスを入力するための画面です。
- マウスを利用して、IPアドレスを入力できます。
- [確認]ボタンをクリックして、設定項目を確定させます。

ネットワーク サブネットマスク

ネットワーク サブネットマスク

IPアドレス: 255.255.255.0

1 2 3

4 5 6

7 8 9

0 - Del

確認

[図 7-6-3. サブネットマスク入力画面]

【サブネットマスク】・【ゲートウェー】

- [サブネットマスク]または[ゲートウェー]を入力するための画面です。
- マウスを利用して該当サブネットマスクまたはゲートウェーを入力できます。
- [確認]ボタンをクリックして、設定項目を確定させます。



[図 7-6-5. センターアドレス入力画面]

[センターアドレス]

- ・ 本機能は、非対応となっております。

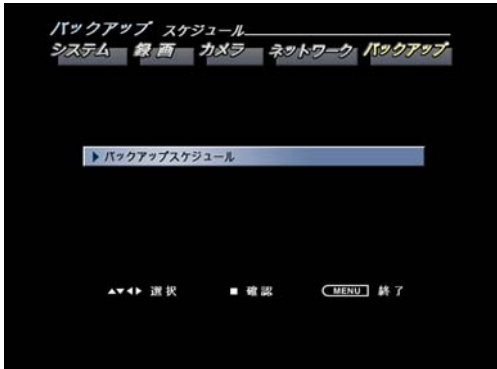


[図 7-6-6. 電話番号入力画面]

[電話番号]

- ・ 本機能は、非対応となっております。

7.7 バックアップ



[図 7-7-1.バックアスケジュール メニュー]



[図 7-7-2.バックアップスケジュール設定画面]

[バックアップスケジュール]メニューでは、録画データのバックアップ予約を設定できます。バックアップ予約されたスケジュールによって、録画データが指定されたドライブまたはリモート・ドライブに転送されます。

•[バックアップスケジュール]は、大量の録画データを特定のドライブにバックアップ予約できる機能です。

•本機能は、現在の時刻以降に録画される映像データをバックアップ予約する機能です。設定現在以前に、既に録画されたデータは予約できません。

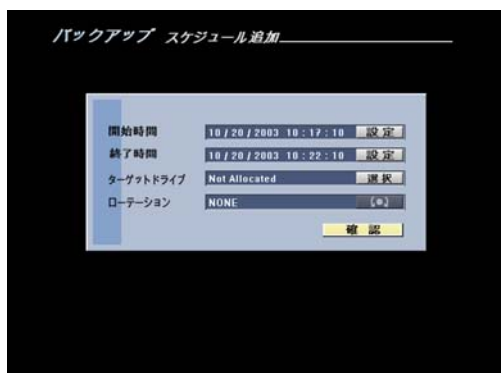
•バックアップ予約時間を現在の時刻より以前の時間で予約する場合、バックアップスケジュールに予約されません。

7.7.1 バックアップスケジュール追加



[バックアップスケジュール]リストにバックアップ予約するためには、[追加]ボタンをクリックしてバックアップスケジュールを追加します。

[図 7-7-3.バックアップスケジュール追加設定]



• バックアップスケジュール追加のために[開始時間]、[終了時間]、[ターゲットドライブ]、及び[ローテーション]を設定した後 [確認]ボタンをクリックして、設定項目を確定します。

[図 7-7-4.バックアップスケジュール追加設定画面]



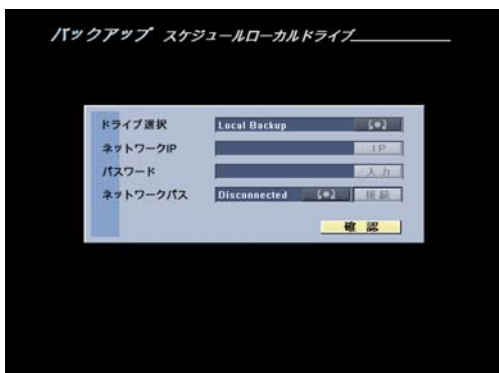
[スケジュール開始時間/終了時間]

- バックアップ予約したい[開始時間]と[終了時間]を指定した後、[確認]ボタンをクリックすると、指定された時間のバックアップスケジュールを予約できます。

[図 7-7-5.バックアップスケジュール開始時間]



[図 7-7-6.バックアップスケジュール終了時間]



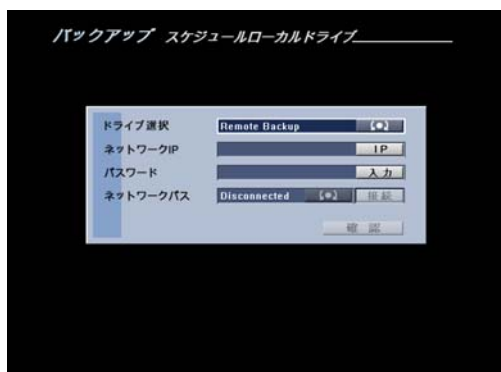
バックアップ予約された録画映像を保存するドライブ位置を指定します。

[ドライブ選択]

•[Local USB]:
本機のUSB端子に接続されたリムーバブル・ドライブに録画映像をバックアップできます。

•[Remote Backup]:
「ZR-DA Center 500」ソフトと共にRemote Backup Serverがインストールされたセンター側PC端末の特定ドライブに、予約された録画映像をバックアップできます。

[図 7-7-7.スケジュール・ローカルドライブ]



[図 7-7-8.スケジュールローカルドライブ]



【注意】

- インターネット経由で本機と「ZR-DA Center 500」ソフトでリモート・バックアップする場合、サイト・センター両側にグローバルIPを取得してください。



[図 7-7-9.ネットワークアドレス]

【ネットワークIP】

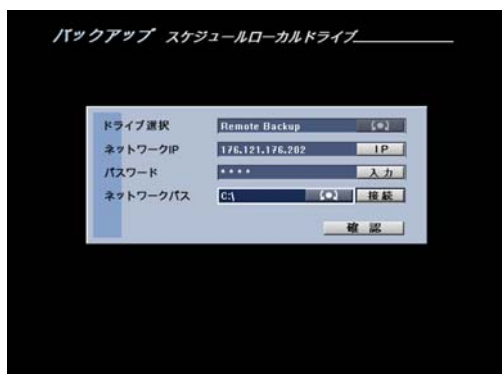
- マウスを利用してセンター側のIPアドレスを入力できます。
- [OK]ボタンをクリックして、設定項目を確定させます。



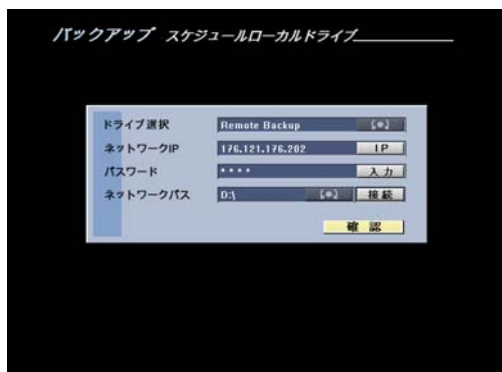
[図 7-7-10.スケジュールネットワークパスワード]

【パスワード】

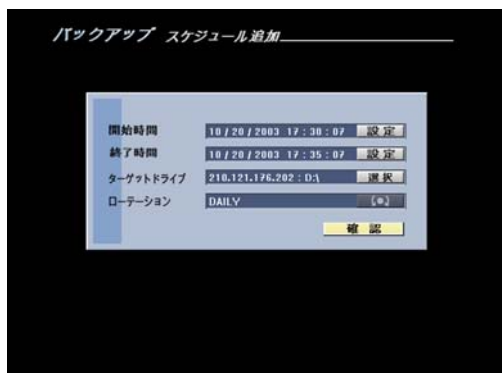
- マウスボタンを利用してセンター側のパスワードを入力できます。
- [確認]ボタンをクリックして、設定項目を確定させます。



[図 7-69.ネットワークパス]



[図 7-70.スケジュールローカルドライブ]



[図 7-71.スケジュール追加]

[ネットワークパス]、[接続]

・全頁で[ネットワークIP]と[パスワード]を入力した後、[接続]ボタンをクリックすると、接続状態により、[ネットワークパス]欄に下記の通り、表示されます。

[Connect]: 接続完了
 [Disconnect]: 非接続
 [Connect Fail]: 接続失敗

・接続が完了すると、センター側PC端末に割り当てられている全てのドライブの中から任意のドライブを、マウスのホイールボタンを利用して、バックアップドライブに選択することができます。

[確認]

・[ネットワークIP]と[パスワード]、[ネットワークパス]を選択した後、[確認]ボタンをクリックすると、[バックアップスケジュール追加]メニューに戻ります。

[ローテーション]

・設定された[開始時間]と[終了時間]、[ターゲットドライブ]に対して、下記項目からバックアップ周期を設定することができます。

[NONE]: 設定無し
 [YEARLY]: 1年毎
 [MONTHLY]: 1ヶ月毎
 [WEEKLY]: 1週毎
 [DAILY]: 1日毎

[確認]

・設定された[開始時間]と[終了時間]、[ターゲットドライブ]、[ローテーション]を指定後、[確認]ボタンをクリックすると、指定された時間及び位置が[バックアップスケジュール]リストに登録されます。



[図 7-72. バックアップスケジュール追加画面]

[バックアップスケジュール]

- [追加]ボタンで登録されたバックアップ予約スケジュールは、リストに表示されます。
- [バックアップスケジュール]画面で「確認」ボタンをクリックすると、設定されたバックアップ予約スケジュールが確定されます。

7.7.2 バックアップスケジュール削除



[バックアップスケジュール]リストにバックアップされたスケジュールを削除するためには、まずマウスで削除したいスケジュールを選択します。

- 削除するスケジュールを選択した後、[削除]ボタンをクリックすると、該当スケジュールが削除されます。

[図 7-73.バックアップスケジュールリスト削除]



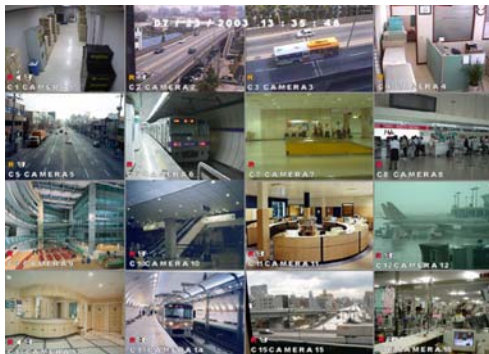
- リストに登録されたバックアップ予約スケジュールは [バックアップ日程]画面で[確認]ボタンをクリックすると、確定されます。

[図 7-74.バックアップスケジュールリスト削除画面]

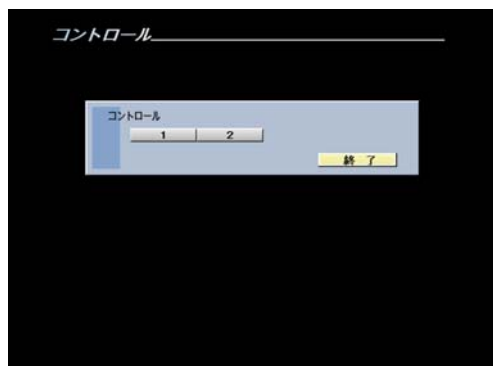
8. コントロール - 手動コントロール

8.1 コントロールモードへの切替え

コントロールモードに切り替えるためには、ライブ映像監視モードで右クリックしてメインメニュー(→P. 22)を表示させ、『コントロール』を選択すると、図8-2のようにコントロール画面に切り替わり、設定されたコントロール番号を手動で動作させることができます。



[図 8-1. 監視画面の16分割状態]



[図 8-2. コントロール画面]

「コントロール」

・コントロール画面でコントロールしたい番号を選択した後、実行キーを押すと各コントロール出力を手動で設定できます。

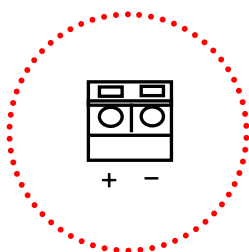
「確認—コントロール画面の終了」

・「終了」ボタンをクリックすると、コントロール画面から監視画面に切り替えられます。

2 章 設置方法

1. PAN/TILTカメラの接続.....84
2. LAN通信回線の接続.....85
3. センサーの接続.....86
4. 外部コントロール機器の接続.....87

1. PAN/TILTカメラの接続



RS-422 (485)信号線 接続端子
(PTZカメラと 接続)



【注意】

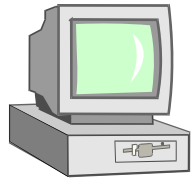
- 接続時、信号線（+）、（-）の極性にご注意ください。
- 間違った配線接続により、機器の誤作動の恐れがあります。
- 当社製品以外のPTZカメラをご使用になる場合は、販売店にお問い合わせください。

2. LAN 通信回線の接続

2.1 LAN接続



LANケーブル



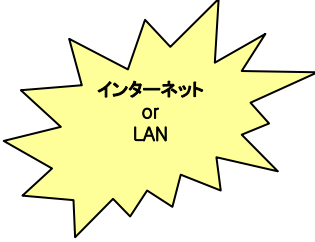
センターソフト インストールPC



ルーター



DSU (専用モデム)



LANケーブル

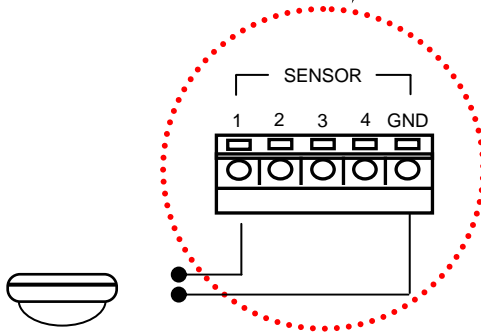


DSU (専用モデム)



ルーター

3. センサーの接続



各種センサー（赤外線センサー、熱線感知機、万引き防止ゲート等）の信号線（2芯）の内、一本は GND 端子に接続して、残りの信号線は希望するセンサー番号端子に接続します。

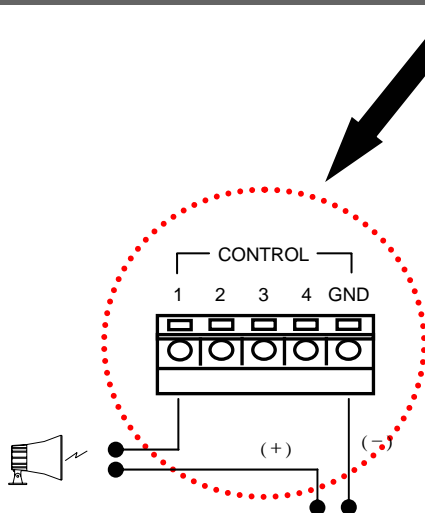
（センサー「NC、NO」タイプ設定は「カメラ設定」メニューで指定します。）



【注意】

各種センサーの電源は、別途電源アダプターをご使用ください。

4. 外部コントロール機器の接続



蛍光灯、増幅サイレン、外部リレーなど

外部電源(DC12V)

- 外部センサーによる連動及び自動コントロールの際、連動されるコントロール出力端子番号(“カメラ設定”メニューから設定された値)と「GND」端子に接続します。
- 通常はコントロール出力接点が「NO」の状態に維持されます。
- 外部コントロール出力の際、出力接点が「NC」状態に切り替わります。



【注意】

- 動作電圧12V、300mA 以下でご使用ください。
- 電灯及びACで動作される機器をコントロールする場合は、別途外部リレーを利用して制御してください。

付 録

| | |
|------------------------|--------------------|
| 1. 専用ビューワ | 89 |
| 1.1 専用ビューワ・ソフト実行 | 89 |
| 1.2 専用ビューワ・メイン画面 | 91 |
| 2. 主な仕様 | 93 |
| 3. Q&A | 95 |

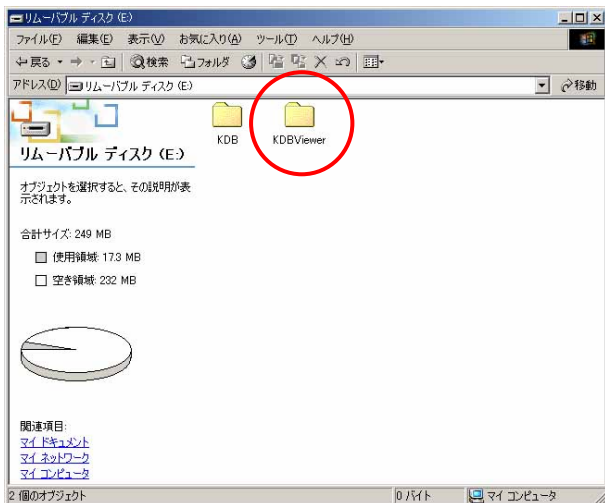
1. 専用ビューワ

1.1 専用ビューワ実行

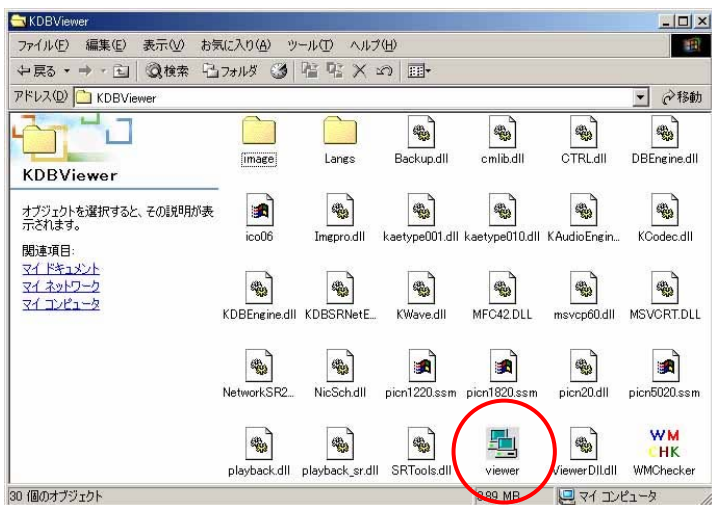
1.1.1 USBフラッシュメモリーなどでのビューワ実行

- ① USBフラッシュメモリーなどに、KDB(独自録画方式)形式にてバックアップした場合、『KDB』と『KDB Viewer』フォルダが自動的に作成されます。そのUSBフラッシュメモリーなどを別のPCのUSB端子に挿入して、該当ドライブをダブルクリックすると、以下のような画面が表示されます。

この内、『KDB Viewer』フォルダをダブルクリックします。

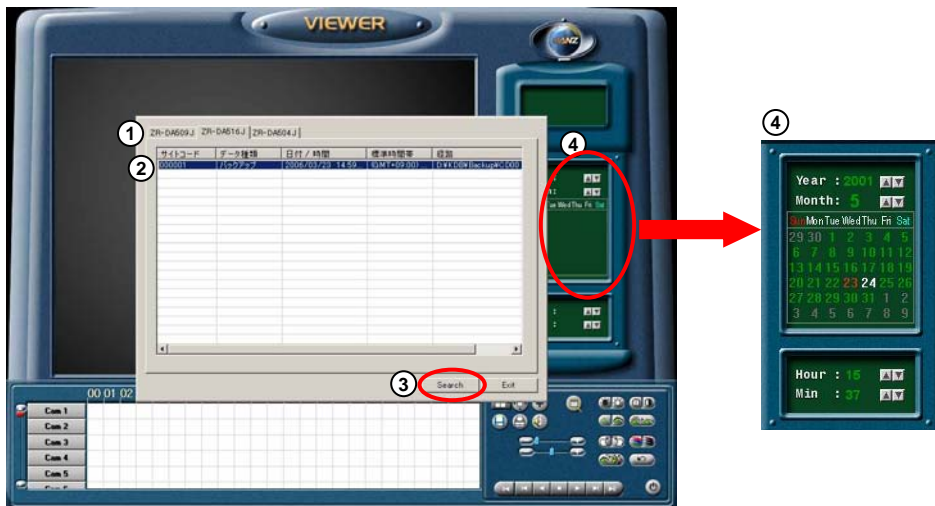


- ② 『KDB Viewer』フォルダ内のViewer.exeをダブルクリックすると、専用ビューワ・ソフトが実行されます。



1.1.2 CD-R・RWでのビューワ実行

CD-R・RWに、KDB(独自録画方式)形式にてバックアップした場合、そのCD-R・RWメディアを別のPCのCD-ROMドライブなどに挿入すると、オートラン機能により自動的にビューワソフトが立ち上がります。



① [本機の機種選択]

- 機種選択ウィンドウの中から、バックアップした機種のタブを選択します。
- 初期値は[ZR-DA509J]が選択されています。

② [データリスト選択]

- 機種を探索すると、バックアップされたデータリストが表示されます。
- 再生したいデータリストをクリックすると、行の部分が青色に表示されます。

③ [Search]

- データリストを選択した後、[Search]ボタンをクリックすると、ビューワ画面に移行します。

④ [録画データ日付選択]

- ビューワ初期画面は、検索現在日が表示されるため、カレンダー表示部から、バックアップデータのある日付を選択してください。

1.2 専用ビューワ・メイン画面



① [カメラ番号ボタンのスクロール]

- 検索するカメラ番号のボタンを上下にスクロールします。

② [カメラ]

- 検索するカメラの番号を選択します。
- 検索するカメラの番号をマウスでクリックすると、該当カメラ番号ボタンの色が変わります。

③ [時間表示及びグラフ領域の拡大]

- 録画データの存在する時間をグラフで表示します。
- 時間部分ををクリックすると、時間帯の間隔を3段階(1時間・30分・10分単位)に拡大してグラフ領域を表示します。

④ [タイムラインの表示]

- 録画種類及び時間帯別の保存量をグラフで表示する機能です。

紫色: 連続録画
 青色: モーション録画
 黄色: センサー録画
 緑色: プリアラーム録画
 表示無し: 録画データ無し

⑤ [タイムライン・サーチバー]

- 現在検索されているデータの時刻を表示する機能です。
- タイムライン・サーチバーを左右に移動させることにより、検索したい録画時間のデータを検索できます。

⑥ [分割画面の設定]

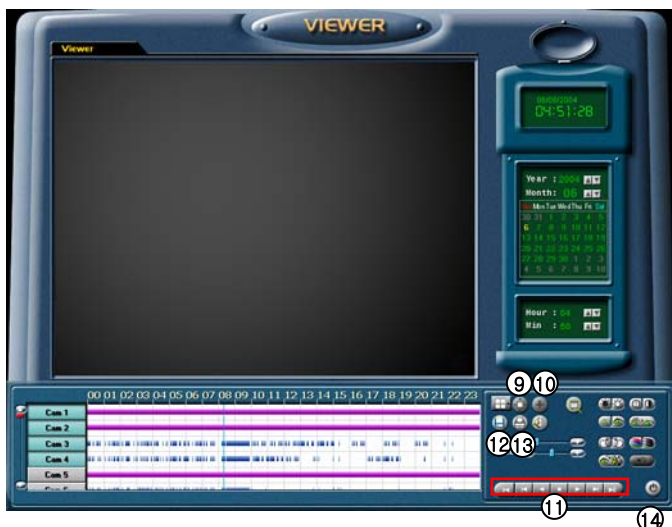
- ボタンをクリックすると、分割画面(4,9,16分割)ボタンが表示され、任意の分割画面で検索できます。(選択できる分割画面の種類は、機種毎に異なります。)

⑦ [SKIP]


- 検索された画像が指定された数値だけスキップし、コマ飛ばし再生されます。
- 指定された数字は画面上に見られる画像のフレーム数ではなく、本機の内部的な区分値です。

⑧ [SPEED]

- 録画映像のスピード再生をします。




⑨ 【画面拡大】


 録画映像にデジタル処理を行い、拡大及び縮小を調節する機能で、5段階の画像拡大が可能です。

⑩ 【デジタルズーム】

・デジタルズームボタンを順次にクリックすると「ズームイン・ズームアウト・ドラッグ」とそれぞれボタンの種類が切り替わります。

 【ズームイン】

マウスポインタをカメラ映像のデジタルズームしたい箇所に当て、右クリックする毎に、選択部分を中心に映像が段階毎に拡大する機能です。13段階の調節ができます。

 【ズームアウト】


マウスポインタをカメラ映像のデジタルズームしたい箇所に当て、右クリックする毎に、選択部分を中心に拡大した映像が段階毎に縮小される機能です。


 【ドラッグ】

ズーム・インした映像のある位置で、右ボタンでドラッグすると、拡大した映像の他の部分が見られる機能です。

⑪ 【検索画面の再生方法】

- ・検索画面を再生するためには、検索する日付・時刻とカメラ番号を指定してから再生します。
- ・SKIPとSPEED値で検索速度を調節して使用すると、効率的に再生できます。


 選択日最初のデータに移動

 1画面ずつ逆コマ再生

 逆再生



 停止

 再生


 コマ送り再生

 選択日最後のデータに移動


⑫ 【バックアップ】

 検索画面でバックアップしたい画面を表示し、バックアップボタン  をクリックすると、バックアップ・ウィンドウが表示されます。

⑬ 【印刷】

 ボタンをクリックすると、検索された映像を印刷します。検索中、一つ画面が選択・拡大されている場合だけ印刷ができます。

⑭ 【検索の終了】

 専用ビューワソフトを終了する時は、終了ボタンをクリックします。

2. 主な仕様

◆ 主使用

- HDD : 最大内蔵HDD搭載数 x 4
- O/S : Embedded Linux
- LAN : Ethernet 10/100 Mb/s

◆ 映像入力

- 16系統 コンポジット/BNC端子 (ZR-DA516J)
- 9系統 コンポジット/BNC端子 (ZR-DA509J)
- 4系統 コンポジット/BNC端子 (ZR-DA504J)

◆ 映像出力

- 1系統 BNC端子 (RGBモニタ接続時は、スポット・モニタ出力)
- 1系統 S-Video端子
- 1系統 RGB出力端子
- 各ビデオ入力に対する映像ループスルー端子

◆ 録画フレーム数

- 704 x 240: 総フレーム数 60 f/s
- 352 x 240: 総フレーム数 120 f/s (ZR-DA504J), 117 f/s (ZR-DA509J), 112 f/s (ZR-DA516J)

◆ 圧縮方式: 独自方式 (Engine-X)

◆ 音声入力/出力

- 各1系統 ϕ 3.5ジャック

◆ ライブ画面表示

- 1, 4, 9, 16 分割画面 -480 f/s 16Ch 動映像モニタリング

◆ 自動画面切り替え機能

- 1, 4, 9分割画面の自動順次切り替え

◆ 検索モード

- 4, 9, 16 分割画面で各チャンネル同時再生機能
- 1画面拡大検索機能

◆ センサー入力

- 4系統

◆ コントロール出力

- 4系統

◆ モーション録画機能

◆ カメラ/センサー連動機能

◆ パン/チルト/ズームカメラ 制御機能

◆ バックアップ

- 内蔵CD-R・RWドライブ
- USB(1.1)端子

◆ スクロール・ホイールボタン付PS/2マウス (付属)

◆ 時間精度: ±1分/月(ベストエフォート、環境により誤差あり)

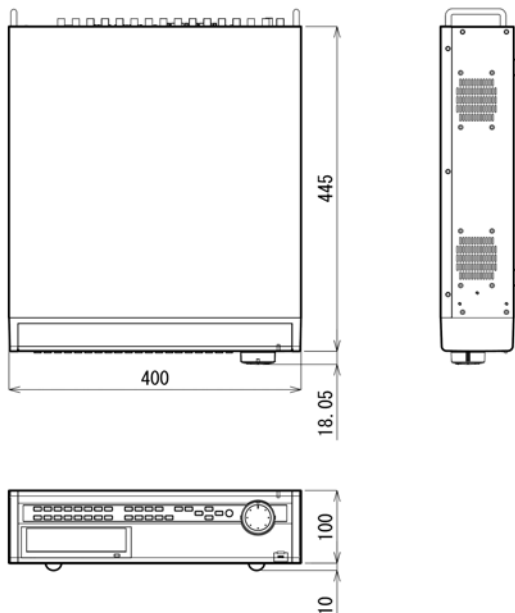
◆ 電源 :

- 国内 : AC100-240V~, 5A max, 60Hz

◆ 質量 : 10.5Kg (HDDを除く)

◆ 外形寸数

- 本体 : 400(W) x 100(H) x 482(D)mm



※前面部の図面は、ZR-DA516Jのものです。

3. Q&A

1 システム電源が入らない。

- ☞ 電源ケーブルが正常に接続されているか、確認してください。
- ☞ 元電源の出力が正常かどうか、確認してください。
- ☞ 電源が接続されている状態でも、電源が入らない場合は販売店に点検を依頼してください。

2 電源はついているが、モニタ画面に何の映像も表示されない。

- ☞ 本機及びモニタ電源が正常に接続されているか、確認してください。
- ☞ 動作表示LEDが点灯されているか、確認してください。
- ☞ 電源ケーブルを抜いた後、**10秒後**に再起動してください。
- ☞ 電源が接続されている状態でも、モニタ画面に何の映像も出力されない場合には販売店に点検を依頼してください。

3 モニタ画面にカメラ番号は表示されるが、カメラ映像は表示されない。

- ☞ カメラ映像線が本機に正常に接続されているか、確認してください。
- ☞ カメラ電源が正常に供給されているか、確認してください。
- ☞ カメラ映像線に異常がないか、確認してください。
- ☞ 本機を終了した後、再起動してください。

4 モニタ画面に映像は出力されるが、録画されない。

- ☞ 録画設定で録画方法を指定していないか、『NONE』に設定されていないか、確認してください。
- ☞ 本機を終了した後、再起動してください。

5 録画された映像が検索されない。

- ☞ 検索したい時間帯の録画映像が記録されているか、タイムライン上で確認してください。
- ☞ 検索したい時間帯に映像が保存されていない場合、設定画面で録画設定方法が正常に設定されているか確認してください。

6 映像と一緒に録音された音が出ない。

- ☞ 検索したいカメラに音声録音オプションが設定されているか、確認してください。
- ☞ 検索画面でオーディオ再生オプションが選択されているか、確認してください。
- ☞ 本機の音声入出力端子に、マイク・スピーカー・ケーブルが正常に接続されているか確認してください。
- ☞ スピーカーの出力機能が正常に動いているか、確認してください。

7

一部カメラの映像の色がおかしく、映像がいつもとは違って見える。

- ☞ カメラに異常がないか確認してください。異常が発生しているカメラと、正常に出力されているカメラ番号の映像を差替入力して、カメラまたは本機の異常有無を判断/確認できます。
- ☞ カメラに異常が無く、本機に異常がある場合は、販売店に点検を依頼してください。

8

映像にノイズが多い。

- ☞ 映像信号に異常がないか確認してください。異常が発生するカメラ番号と、正常に出力されている番号の映像に差替入力して、カメラまたは本機の異常有無を判断/確認できます。
- ☞ カメラと本機の間接続された映像線の、ショート及び混線などの状態を確認してください。
- ☞ カメラと本機の間接続された映像線の周りに高電圧の機器が設置されていないか、確認してください。映像の画質を低下させたり、ノイズを発生させる原因になります。
- ☞ カメラと本機の間接続された映像線の種類が正しいか確認してください。

9

時々、システムが再起動される。

- ☞ 本機が正常に稼動していない、もしくは異常が発生する場合、自動診断機能により自動的に再起動されてシステムが正常に動くようになります。

10

接続されたセンサーが作動しない。

- ☞ カメラ設定メニューから接続されたセンサーの種類が、実際に接続されているセンサー動作方式と一致するか確認してください。
- ☞ 録画設定メニューのスケジュール画面で、センサーを使用できるように設定されているか確認してください。
- ☞ センサーの電源が接続されているか、確認してください。
- ☞ センサーの信号線が接続されているか、確認してください。

11

接続されたコントロール機器が作動しない。

- ☞ カメラ設定メニューから、接続されたコントロール機器の使用有無について、設定状態を確認してください。
- ☞ コントロール機器の電源が接続されているか、確認してください。
- ☞ コントロール機器の信号線が接続されているか、確認してください。

■ カメラ台数: 1台 HDD:250GB 音声記録:切 [単位:時間]

| f/s | | 30 | 20 | 10 | 5 | 3 | 2 | 1 |
|-----------|--------|-------|---------|---------|---------|---------|----------|----------|
| 704 × 240 | BEST | 110時間 | 165時間 | 331時間 | 662時間 | 1,103時間 | 1,655時間 | 3,309時間 |
| | HIGH | 162時間 | 243時間 | 485時間 | 971時間 | 1,618時間 | 2,427時間 | 4,854時間 |
| | NORMAL | 303時間 | 455時間 | 910時間 | 1,820時間 | 3,034時間 | 4,551時間 | 9,102時間 |
| | LOWEST | 405時間 | 607時間 | 1,214時間 | 2,427時間 | 4,045時間 | 6,068時間 | 12,136時間 |
| 352 × 240 | BEST | 270時間 | 405時間 | 809時間 | 1,618時間 | 2,697時間 | 4,045時間 | 8,090時間 |
| | HIGH | 347時間 | 520時間 | 1,040時間 | 2,080時間 | 3,467時間 | 5,201時間 | 10,402時間 |
| | NORMAL | 607時間 | 910時間 | 1,820時間 | 3,641時間 | 6,068時間 | 9,102時間 | 18,204時間 |
| | LOWEST | 809時間 | 1,214時間 | 2,427時間 | 4,854時間 | 8,091時間 | 12,136時間 | 24,272時間 |

■ カメラ台数: 4台 HDD:250GB 音声記録:切 [単位:時間]

| f/s | | 30 | 20 | 10 | 5 | 3 | 2 | 1 |
|-----------|--------|-------|-------|-------|---------|---------|---------|---------|
| 704 × 240 | BEST | | | 83時間 | 165時間 | 276時間 | 414時間 | 827時間 |
| | HIGH | | | 121時間 | 243時間 | 405時間 | 607時間 | 1,214時間 |
| | NORMAL | | | 228時間 | 455時間 | 759時間 | 1,138時間 | 2,276時間 |
| | LOWEST | | | 303時間 | 607時間 | 1,011時間 | 1,517時間 | 3,034時間 |
| 352 × 240 | BEST | 67時間 | 101時間 | 202時間 | 405時間 | 674時間 | 1,011時間 | 2,023時間 |
| | HIGH | 87時間 | 130時間 | 260時間 | 520時間 | 867時間 | 1,300時間 | 2,601時間 |
| | NORMAL | 152時間 | 228時間 | 455時間 | 910時間 | 1,517時間 | 2,276時間 | 4,551時間 |
| | LOWEST | 202時間 | 303時間 | 607時間 | 1,214時間 | 2,023時間 | 3,034時間 | 6,068時間 |

■ カメラ台数: 9台 HDD:250GB 音声記録:切 [単位:時間]

| f/s | | 13 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
|-----------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|---------|---------|
| 704 × 240 | BEST | | 61時間 | 74時間 | 92時間 | 123時間 | 184時間 | 368時間 |
| | HIGH | | 90時間 | 108時間 | 135時間 | 180時間 | 270時間 | 539時間 |
| | NORMAL | | 169時間 | 202時間 | 253時間 | 337時間 | 506時間 | 1,011時間 |
| | LOWEST | | 225時間 | 270時間 | 337時間 | 449時間 | 674時間 | 1,348時間 |
| 352 × 240 | BEST | 69時間 | 150時間 | 180時間 | 225時間 | 300時間 | 449時間 | 899時間 |
| | HIGH | 89時間 | 193時間 | 231時間 | 289時間 | 385時間 | 578時間 | 1,156時間 |
| | NORMAL | 156時間 | 337時間 | 405時間 | 506時間 | 674時間 | 1,011時間 | 2,023時間 |
| | LOWEST | 207時間 | 449時間 | 539時間 | 674時間 | 899時間 | 1,348時間 | 2,697時間 |

■ カメラ台数: 16台 HDD:250GB 音声記録:切 [単位:時間]

| f/s | | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
|-----------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|---------|
| 704 × 240 | BEST | | | | | 69時間 | 103時間 | 207時間 |
| | HIGH | | | | | 101時間 | 152時間 | 303時間 |
| | NORMAL | | | | | 190時間 | 284時間 | 569時間 |
| | LOWEST | | | | | 253時間 | 379時間 | 759時間 |
| 352 × 240 | BEST | 72時間 | 84時間 | 101時間 | 126時間 | 169時間 | 253時間 | 506時間 |
| | HIGH | 93時間 | 108時間 | 130時間 | 163時間 | 217時間 | 325時間 | 650時間 |
| | NORMAL | 163時間 | 190時間 | 228時間 | 284時間 | 379時間 | 569時間 | 1,138時間 |
| | LOWEST | 217時間 | 253時間 | 303時間 | 379時間 | 506時間 | 759時間 | 1,517時間 |

保証案内書

1.<保証内容>

取扱説明書・注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、本保証書の記載内容に基づき、無償修理または、弊社の判断により同等品へ交換いたします。

2.<修理依頼>

修理を弊社へご依頼される場合は、製品と本保証書をご購入元の販売代理店へお持ち込みください。また、発送の際は輸送時の損傷を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材をご使用頂き、必ず宅配便もしくは輸送状態が確認できる業者のご利用をお願いいたします。

3.<保証適応外>

- 1) ご購入日から保証期間が経過した場合。
- 2) 修理ご依頼の際、本保証書のご提示がいただけない場合。
- 3) 災害、地震、水害、落雷、その他の天変地異、公害または異常電圧による故障もしくは損傷。
- 4) お買い上げ後の輸送、移動時の落下・衝撃などお取り扱いが不適当なため生じた故障もしくは損傷。
- 5) 取扱説明書の記載の使用方法または注意に反するお取り扱いに起因する故障もしくは損傷。
- 6) 弊社以外で改造、調整、部品交換などをされた場合。

4.<弊社免責>

本製品の故障、または使用によって生じた保存データの消失など、直接および間接の損害については 弊社は一切責任を負いません。

5.<保証有効範囲>

本保証書は日本国内においてのみ有効です。

This warranty is valid only in Japan.

CBC(株) ZR-DA500シリーズ保証書

| | | | |
|-------------|--|-------------|---------------|
| 製品番号 | ZR-DA504/509/516J | 販売会社 | ご購入日 |
| 保証期間 | ご購入日から1年間有効です。 | | 住 所 ・ 社 名 |
| | | | ☎ () - |
| *お客様 | ふりがな | | |
| | 社名・店舗名 | | |
| | 〒 ☎ () - | | |
| | ご住所 | | |

*印の箇所は明確にご記入ください。
本保証書は再発行いたしませんので紛失しない様大切に保管してください。



CBC株式会社

イメージ&インフォメーション・テクノロジー・ディビジョン

〒104-0052

東京都中央区月島2-15-13

TEL: 03-3536-4599

<http://www.ganz.jp>

Ver1.005P1 2006年3月15日改訂